

海外から帰国する みなさんへ

神奈川県公立高等学校（全日制）入学のてびき

令和9（2027）年度入学者用



○ はじめに

神奈川県公立高等学校入学者選抜は、すべての課程で「共通選抜」を実施し、原則として学力検査が共通の検査となります。また、夜間の定時制と通信制では、別日程で「定通分割選抜」も実施します。

「海外帰国生徒特別募集」は、「共通選抜」と同日程で実施します。詳細は、別に配付する「令和9年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 募集案内Ⅰ・Ⅱ」および「令和9年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 志願のてびき」を参照してください。どちらも、神奈川県教育委員会ホームページに掲載します。

令和9年度公立高等学校（全日制）入学者選抜に関する志願の概要

海外から転居予定の方向けの説明動画（11月下旬公開予定）を視聴してください。
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kengaikaigai.html>

志願資格承認申請（全員）および学区確認申請（該当者のみ）

受付期間：令和8年11月28日（土）および11月30日（月）～令和9年1月15日（金）
※土、日、休日および12月29日（火）～1月3日（日）を除く。
電子申請は、11月28日（土）～12月28日（月）午後4時まで受付します。

	共通選抜	特別募集
募集校	全校	各特別募集実施校
募集期間	インターネット出願 【志願情報申請期間】 1月25日（月）～29日（金） 【中学校長承認期間】 1月25日（月）～2月1日（月）	インターネット出願 【志願情報申請期間】 1月25日（月）～29日（金） 【中学校長承認期間】 1月25日（月）～2月1日（月） 【特別募集の志願資格確認期間】志願予定先の高校窓口 令和9年1月6日（水）～15日（金） ※土、日、休日および学校閉庁日を除く。
志願変更の期間	【志願変更情報申請期間】2月4日（木）～8日（月） 【中学校長承認期間】2月4日（木）～9日（火）	
検査内容・日程	◆学力検査等 2月16日（火） ◆特色検査 2月16日（火）、17日（水）、18日（木） ☆特色検査（自己表現検査、実技検査、面接）実施の有無については、募集案内Ⅱを確認してください。 ※追検査 2月22日（月）	<海外帰国生徒特別募集> ◆学力検査・作文・面接 2月16日（火） <在県外国人等特別募集> ◆学力検査・面接 2月16日（火） ※追検査 2月22日（月）
合格発表	令和9年2月26日（金）	

海外帰国生徒特別募集は、海外に長期滞在をして帰国または帰国予定の人を対象としています。

志願資格

- ・ 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ・ 日本国籍を有し、保護者に伴って、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が令和6（2024）年3月1日以降の人（県立神奈川総合高等学校の後期募集の場合は、令和6（2024）年9月1日以降に帰国した人）

以上の条件をすべて満たす人

検査の内容

外国語（英語）、国語、数学、作文および面接
※横浜国際高等学校国際科国際バカレアコースにおいては、特色検査（自己表現検査）を2月17日（水）に実施します。

実施校

【県立（全日制）】

- ・ 神奈川総合高等学校 単位制普通科国際文化コース
- ・ 横浜国際高等学校 単位制国際科（国際バカレアコースを除く。）
単位制国際科国際バカレアコース
- ・ 新城高等学校 普通科
- ・ 西湘高等学校 普通科
- ・ 鶴嶺高等学校 普通科
- ・ 相模原弥栄高等学校 単位制普通科
- ・ 伊志田高等学校 普通科

【市立（全日制）】

- ・ 横浜市立東高等学校 単位制普通科

選考の方法

調査書と実施した検査の結果を基に総合的に選考します。

目 次

I 神奈川県公立高等学校の入学について

- 1 帰国後の高等学校への入学について 1
- 2 神奈川県公立高等学校（全日制）の志願のための手続について 2

II 神奈川県公立高等学校への編入学について

- 1 志願の手続について 7
- 2 選抜のための検査について 7
- 3 選抜のための検査等実施校・学区について 8
- 4 問合せ先 8

III 神奈川県公立高等学校の海外帰国生徒特別募集実施校の紹介

- 神奈川県立神奈川総合高等学校 9
- 神奈川県立横浜国際高等学校 11
- 神奈川県立新城高等学校 13
- 神奈川県立西湘高等学校 15
- 神奈川県立鶴嶺高等学校 17
- 神奈川県立相模原弥栄高等学校 19
- 神奈川県立伊志田高等学校 21
- 横浜市立東高等学校 23

IV よくあるお問合せ

- 1 志願資格について 25
- 2 志願等の手続について 26
- 3 選考について 28
- 4 編入学について 29
- 5 その他 29

資 料

- 神奈川県公立高等学校一覧 30
- 神奈川県私立高等学校一覧（公募校のみ） 34

問合せ先等 36

I 神奈川県公立高等学校の入学について

1 帰国後の高等学校への入学について

○ 海外の中学校等から高等学校に入学するための条件

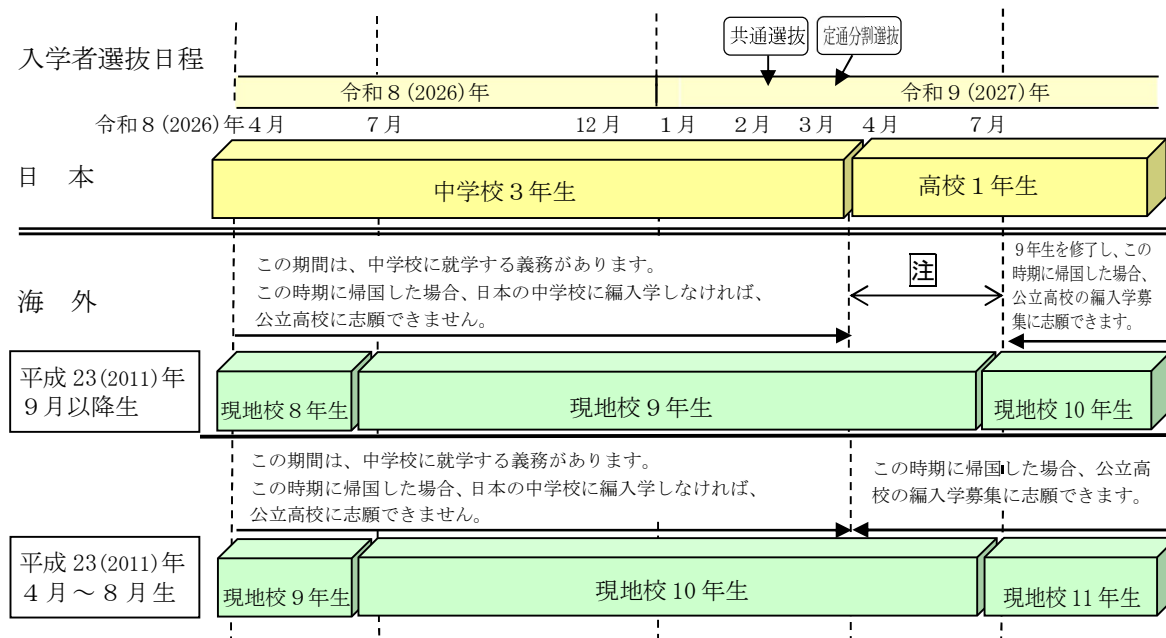
- ア 外国において学校教育における9年の課程を修了または令和9(2027)年3月31日までに修了する見込みがあること
- イ 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了または令和9(2027)年3月31日までに修了する見込みがあること
(アまたはイのどちらかを満たしている必要があります。)

日本人学校は日本の中学校と同じ3月卒業(修了)となりますが、海外の現地校では6月修了となっていることが多いので、6月修了の現地校に在学(9年生または10年生)中で日本における学齢が中学校3年生に相当する人(対象者:平成23(2011)年4月2日～平成24(2012)年4月1日生まれの人(学齢が中学校3年生))が帰国する場合の例で説明します。

例① 9年生在学中の人(平成23(2011)年9月以降生まれ)は、現在の学年が令和9(2027)年6月に修了見込なので、3月に帰国した場合は入学者選抜に志願することはできません。令和9(2027)年6月にその学年を修了してから帰国すれば、高等学校1年生に編入学できる可能性があります。(編入学については、7～8ページに掲載)

例② 10年生在学中の人(平成23(2011)年4月～8月生まれ)は、9年生を令和8(2026)年6月に修了しているので、令和9(2027)年4月1日までに神奈川県内に転居する予定があれば、受検することができます。

※ どちらの学年であっても、学年途中で退学し帰国する人は、日本の中学校に就学する義務がありますので、速やかに日本の中学校に編入学してください。手続が間に合えば、入学者選抜に志願できます。(1月以降に帰国した場合、志願に間に合わないことがあります。)



注 この時期に帰国した場合、日本の中学校への就学義務はありませんが、学校教育の9年間の課程が修了していないので、高等学校への入学資格はありません。9年生を終えてから帰国する、または、中学校卒業程度認定試験(出願期間は例年7月から8月:文部科学省)に合格して高等学校への志願資格を得る必要があります。

2 神奈川県公立高等学校（全日制）の志願のための手続について

(1) 県立、横浜市立、川崎市立および横須賀市立の高等学校の志願のための共通の手続

神奈川県公立高等学校（全日制）に志願するためには、次の条件を満たす必要があります。

平成24(2012)年4月1日以前に出生した者で、次の(1)から(7)までのいずれかに該当する者であつて、かつ、本人及び保護者（親権者又は未成年後見人をいう。）の住所が神奈川県内にあること。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を卒業又は修了した者（ただし、国公立高等学校、中等教育学校の後期課程及び高等専門学校（以下「高等学校等」という。）に在籍している者を除く。）
- (2) 中学校等を令和9(2027)年3月31日までに卒業する見込み又は修了する見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和9(2027)年3月31日までに修了する見込みの者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和9(2027)年3月31日までに修了する見込みの者
- (5) 中学校を卒業した者と同等以上の学力を有する者として文部科学大臣が指定した者
- (6) 就学義務猶予・免除者等に対する中学校卒業程度認定試験により認定証書が授与された者
- (7) 中学校を卒業した者と同等以上の学力を有する者として高等学校の校長が認めた者

※ 本人のみが帰国し、親戚等の家から通学するなどの場合、全日制の課程の志願資格は認められません。定時制・通信制の課程は志願できます。

志願資格承認申請手続について

海外から帰国するみなさんは、現在、神奈川県内にお住まいではないので、令和9(2027)年4月1日までに保護者とともに神奈川県内に転居する予定であることを証明の上、事前に志願資格の承認を申請し、神奈川県教育委員会教育長の志願資格承認を受ける必要があります。

なお、転居先の住所が確定していない場合には申請できません。

ア 申請期間および場所

(ア) 窓口での申請

申請期間・受付時間	場所
令和8(2026)年11月30日(月)～令和9(2027)年1月15日(金) 午前9時～正午、午後1時～午後4時 ※土曜日、日曜日、休日および令和8(2026)年12月29日(火)～令和9(2027)年1月3日(日)を除く。	神奈川県教育委員会 高校教育課 所在地および地図は6ページ参照

(イ) e-kanagawa 電子申請システムによる申請

申請期間・受付時間	申請先
令和8(2026)年11月28日(土)午前0時 ～12月28日(月)午後4時	下記の神奈川県教育委員会ホームページに掲載 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/shiganshikakushinsei.html

イ 提出または提示する書類

(ア) 志願資格承認申請書（第 15 号様式）

日本人学校の場合は、「中学校長意見及び副申欄」に記入と公印が必要になります。

海外現地校の出身者で、学校長の証明の記入や押印ができない場合は、修了（見込）を証明するもの（修了証明書等）を提示してください。

(イ) 転居予定先の住所を確認できる次の a～e のいずれかの書類

※ 住民票での確認は行いません。

- a 家屋の登記簿謄本または登記事項証明書（いずれも発行後、6 か月以内のもの）
- b 建築確認通知書、建築計画確認書、入居決定通知書、売買契約書のいずれか（転居先の建物が建築中の場合等）
- c 公団住宅、公舎、社宅へ入居する場合は、その管理者の証明書
- d 家主との契約書（契約予定を含む。）
- e その他、転居予定の事実を証明できるもの
(窓口での申請の場合、上記書類は、内容を確認後、その場でお返しします。)

(ウ) 念書（第 19 号様式【県志願資格用】）

転居をとりやめるときは、入学を辞退する旨記載するもの

(エ) 同居同意書（第 20 号様式【県志願資格用】）[下記に該当する方のみ]

(イ)の書類の所有者名義または賃借人名義が志願者の保護者でない場合、名義人が志願者および保護者と同居することについて同意している旨記載するもの

※ 郵送による書類の提出はできません。

※ e-kanagawa 電子申請システムによる申請をする場合は、上記書類の電子データをアップロードすることにより提出してください。

ウ 承認

申請の事由が適当であると認めた志願者に対して、神奈川県教育委員会がインターネット出願システムに「承認情報の登録」をします。

※ 二次募集および定通分割選抜に志願する場合、指定された日時と場所で志願資格承認書（第 17 号様式）を受領してください。詳細は、神奈川県教育委員会ホームページをご確認ください。

(2) 横浜市立および川崎市立の高等学校で、それぞれの市内を学区とする学校に志願するための手続

それぞれの市内を学区とする高等学校は次のとおりです。下記の学校（特別募集を除く。）においては、それぞれ入学できる人数を制限する枠は設けられていますが、学区外から志願することもできます。

○横浜市立の高等学校

- ・ 全日制の課程の普通科および単位制普通科（戸塚高等学校の単位制普通科音楽コースを除く。）
- ・ 全日制および定時制の課程の総合学科

○川崎市立の高等学校

- ・ 全日制および定時制の課程の普通科

学区確認申請手続について

神奈川県教育委員会教育長の志願資格承認を受ける方が前記(2)の高等学校を志願する場合には、それぞれの市教育委員会教育長の学区確認が必要です。

ア 申請期間および場所

(ア) 窓口での申請

申請期間・受付時間	場所
令和8(2026)年11月30日(月)～令和9(2027)年1月15日(金) 午前9時～正午、午後1時～午後4時 ※土曜日、日曜日、休日および令和8(2026)年12月29日(火)～令和9(2027)年1月3日(日)を除く。	横浜市立の高等学校 → 横浜市教育委員会 川崎市立の高等学校 → 川崎市教育委員会 所在地および地図は6ページ参照

(イ) 電子申請による申請

申請期間・受付時間	申請先
令和8(2026)年11月28日(土)午前0時 ～12月28日(月)午後4時	下記の神奈川県教育委員会ホームページに掲載 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/gakkukakuninshinsei.html

※ 定時制の課程の手続は、横浜市教育委員会または川崎市教育委員会にお問い合わせください。

イ 提出または提示する書類

(ア) 市立高等学校(全日制の課程)に係る学区確認申請書(第22号様式の1)

日本人学校の場合は、「中学校長の記入欄」に、記入と公印が必要になります。

海外現地校の出身者で、学校長の証明の記入や押印ができない場合は、修了(見込)を証明するもの(修了証明書等)を提示してください。

(イ) 転居先の住所を確認できる書類

前記(1)のイの(イ)(3ページ)と同じ。

(ウ) 念書(第23号様式【市学区確認用】)

転居をとりやめるときは、入学を辞退する旨記載するもの

(エ) 同居同意書(第24号様式【市学区確認用】)[下記に該当する方のみ]

(イ)の書類の所有者名義または賃借人名義が志願者の保護者でない場合、名義人が志願者および保護者と同居することについて同意している旨記載するもの

※ 郵送による書類の提出はできません。

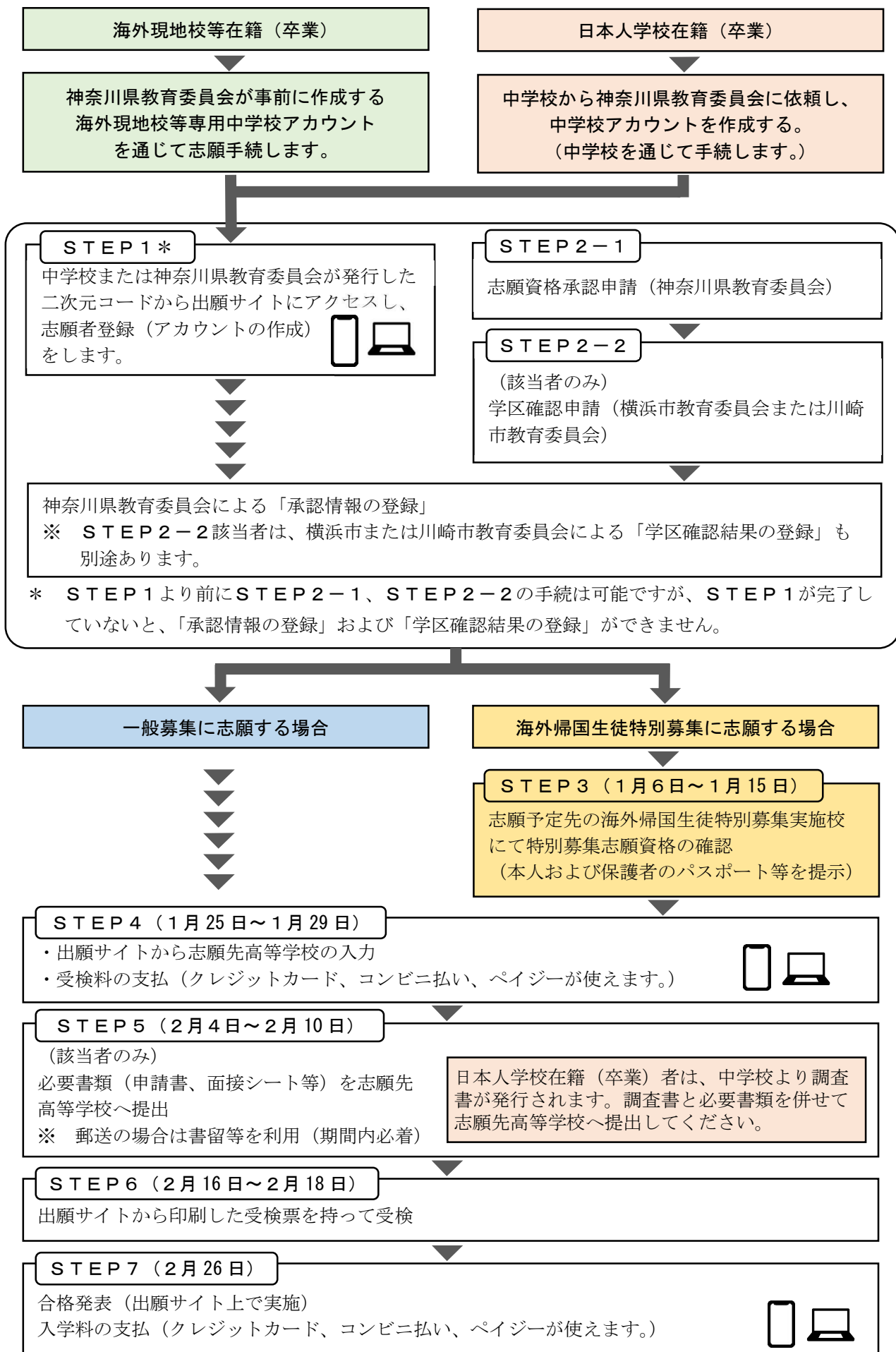
※ 電子申請による申請をする場合は、上記書類の電子データをアップロードすることにより提出してください。

ウ 通知

申請の事由が適当であると認めた志願者に対して、各市教育委員会がインターネット出願システムに「学区確認結果の登録」をします。

※ (川崎市立の高等学校のみ) 定通分割選抜に志願する場合、指定された日時と場所で学区確認通知書(第25号様式の2)を受領してください。詳細は、川崎市教育委員会にお問い合わせください。

(3) 志願手続の流れ ※詳細は10月下旬頃、神奈川県教育委員会ホームページに掲載します。



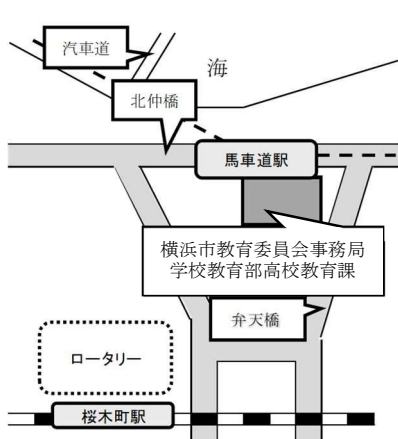
各教育委員会のご案内



神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課

横浜市中区日本大通 1
神奈川県庁東庁舎 6 階

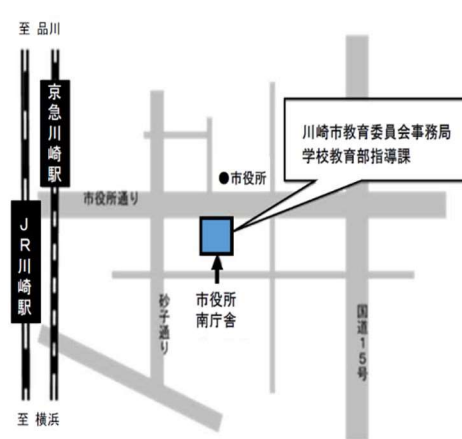
電話 (045) 210-8084



横浜市教育局事務局
学校教育部高校教育課

横浜市中区本町 6 丁目 50 番地
の 10 (新市庁舎 14 階)

電話 (045) 671-3272



川崎市教育委員会事務局
学校教育部指導課

川崎市川崎区宮本町 1
(南庁舎 7 階)

電話 (044) 200-3243

入学者選抜の概要については、「令和 9 年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 募集案内」または「令和 9 年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 志願のてびき」(11 月中旬頃発行予定) で確認してください。

「令和 9 年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 募集案内」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/bosyuannai.html>



令和 9 年度神奈川県公立高等学校入学者選抜のインターネット出願に係る手続の詳細については、10 月下旬頃に以下のホームページで案内します。

「県外・海外・私立等から受検する場合のインターネット出願に係る手続について」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kengai-kaigai-shiritsu-netshutsugan.html>



Ⅱ 神奈川県公立高等学校への編入学について

高等学校への編入学は、異なる種類の学校や外国からの帰国者等が、第1学年当初（入学時期は除く。）または第2学年以上に入学することを指します。編入学は、相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると校長が認めた場合に可能となります。

国外において、現地の高等学校あるいは在外教育施設の高等部に在学している人、または、日本と学年終了時期が異なる国の学校教育における9年の課程を当該年の4月1日以降に修了（または在外教育施設の中学部を卒業）した人が、保護者の転勤等によって保護者とともに帰国する場合、年度の途中からでも転編入定員等に空きのある高等学校に編入学することができます。

海外帰国生徒特別募集の志願資格を満たしている場合、編入学できる高等学校は、原則として海外帰国生徒特別募集を行う高等学校となります。（表紙裏面の「はじめに」参照）

編入学を希望する場合は、あらかじめ転編入学情報センター（36ページ参照）に電話で連絡し、相談してください。帰国後、速やかに編入学先へ接続し、学習の継続ができるよう対応します。

1 志願の手続について

編入学選抜のための検査に志願しようとする人は、志願先の高等学校に次の書類を提出し受検料を納付してください。

- (1) 編入学願
- (2) 転居先の住所を確認できる書類（3ページ参照）
- (3) 現地校あるいは在外教育施設の何年生を修了したのかが分かる修了証明書および当該学年と前学年の成績証明書（または単位修得証明書）

なお、修了証明書と成績証明書等は、同一の書類でもかまいません。また、帰国が当該学年の年度途中の場合は、在籍証明書も必要となります。

※ 各書類には、校長による証明が必要です。

海外帰国生徒特別募集による編入学を希望する場合は、(1)から(3)の書類に加えて次の書類も必要です。

- (4) 保護者の勤務等の関係で、外国に2年以上継続して在住して帰国した日が令和6（2024）年3月1日以降であることを証明する書類（例えば、本人と保護者のパスポートの出入国記録、保護者の勤務先の所属長の証明等）

2 選抜のための検査について

各高等学校が編入学選抜のための検査を実施します。

保護者の転勤等によって保護者とともに帰国する場合、転編入学情報センターが編入学する高等学校を案内しており、学力検査は行わず、資料と面接により選抜を実施しています。このほか、学校によっては、作文、実技検査等を実施する場合があります。

転編入学情報センターの案内による編入学を希望されない場合、4月1日付け編入学の検査を受検することになり、学力検査（国・数・英）、面接および作文により選抜を実施します。

期日は、原則として次のとおりです。検査の期日が土曜日、日曜日または休日に当たる場合は、直前の平日になります。

〔全日制の課程〕

編入学期日	検査の期日	実施学年
4月1日付け	3月20日	2・3学年
4月11日付け	4月10日	1・2・3学年
9月1日付け	8月20日	1・2・3学年
1月1日付け	12月20日	1・2学年

状況によって、上記以外の期日で編入学を実施する場合があります。

なお、県立神奈川総合高等学校については、入学者選抜の後期募集（7月）に含めて実施するため、9月1日付け編入学の実施はありません。（募集案内Ⅰ・Ⅱ参照）

3 選抜のための検査等実施校・学区について

編入学選抜のための検査は、各学期に転編入定員等に空きのある高等学校において行われます。

なお、県立および横須賀市立の高等学校には学区はありません。横浜市立および川崎市立の一部の高等学校では、それぞれの市内全域を学区としています。募集定員の一定の範囲内で、学区外から入学できる枠が設けられています。

4 問合せ先

編入学についての不明な点については、36 ページに記載の転編入学情報センター（電話(045)210-8235）または県教育委員会教育局指導部高校教育課（電話(045)210-8084）にお問い合わせください。

Ⅲ 神奈川県公立高等学校の海外帰国生徒特別募集実施校の紹介



かながわそうごう 神奈川県立 神奈川総合高等学校



〈 学校案内図 〉

利用交通機関

- 東急東横線 東白楽駅より徒歩 3 分
- JR 線 東神奈川駅より徒歩 8 分
- 京浜急行線 京急東神奈川駅より徒歩 10 分

所在地：横浜市神奈川区平川町 19-2

電 話：(045) 491-2000

FAX：(045) 491-3190

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanagawasohgoh-h/>

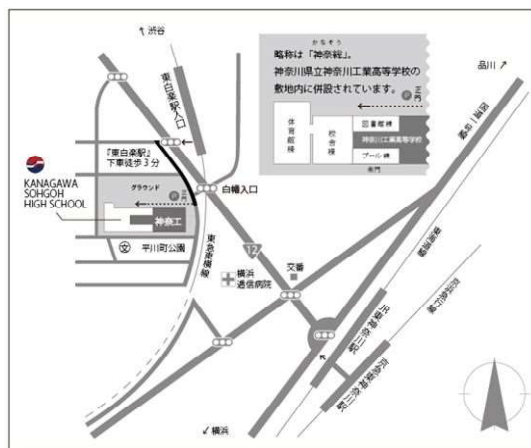
創 立：平成 6(1994)年 10 月【平成 7(1995)年 4 月開校】

課 程：単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1 年	2 年	3 年	計
普通科 個性化コース	119	120	120	359
普通科 国際文化コース	98	114	108	320
舞台芸術科	30	29	30	89
学 級 数	7	7	8	22

(生徒数、学級数については令和 8 (2026) 年 5 月 1 日現在)



(1) 学校の特徴

神奈川県で初の単位制による全日制的課程普通科高等学校として平成 7 (1995) 年 4 月に開校しました。単位制では、1 学年や 2 学年といった学年制をとらず、74 単位以上を修得して卒業となります。募集定員 (令和 8 (2026) 年度入学者選抜) は普通科「個性化コース」119 人、「国際文化コース」119 人、舞台芸術科 30 人の計 268 人です。なお、「国際文化コース」119 人の内、10 人は前期海外帰国生徒特別募集 (4 月入学)、20 人が後期募集 (10 月入学) です。令和 3 (2021) 年度には、専門学科「舞台芸術科」が設置されました。学校教育目標として「生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、主体的に学び、国際社会の中で共に生き共に育つ高い人格と心豊かな感性を備えた人間を育成する。」を掲げて、生徒主体の教育を推進しています。年 2 回の入学者選抜 (2 月と 7 月) を実施し、前期・後期の二学期制を導入して教育制度の異なる海外から帰国するみなさんが入学しやすい仕組みを設定しています。

主な学校行事には、スポーツ大会 (体育祭)、翔鷗祭 (文化祭)、テーマ研究発表会、研修旅行 (修学旅行) などがあります。研修旅行は体験学習を中心とし、令和 7 年度は、農業体験学習、震災学習、国際平和学習、舞台芸術から選択する予定です。他にも、韓国・アメリカ・スペイン・フランス・イギリス・ドイツ・中華文化圏の高等学校とのパートナー校交流事業を行っています。

また、部活動も生徒が主体になって盛んに行われています。全国的な美術展への出品、放送部や演劇部、水泳部の全国大会出場など様々な分野で活躍しています。

校舎は 10 階建ての中央棟と 4 階建ての体育館棟からなり、全学習室が冷暖房完備です。県立神奈川工業高等学校と同一敷地内にあり、温水プールと食堂、図書館が共用施設となっています。本校独自のものとして、本格的な照明設備や音響設備の整った多目的ホール、広いトレーニングルーム、屋内弓道場等々、多様な教育活動が展開できる充実した施設・設備が整っています。

令和 7 (2025) 年度から神奈川県教育委員会より「グローバル教育研究推進校」に再指定されています。

(2) 教育課程

単位制普通科には「個性化コース」と「国際文化コース」の 2 つのコースがあり、どちらも学習指導要領上の必履修科目を学びます。その上で各コースに特徴的な科目を履修することになります。また、どちらのコースでも選択できる科目が多くあります。

「個性化コース」は、5 つのフィールド（「人文社会」「自然科学」「スポーツ・生活科学」「芸術」「国際文化」）から 3 単位以上の科目を履修します。文系や理系だけでなく、音楽や美術、舞踊や演劇など幅広い進路や個性に応じた分野の学習ができるよう、多様な選択科目を設定しています。

「国際文化コース」は、第二外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語）と国際理解に関連した科目（国際関係論・グローバル学習・文化人類学）の中から計 6 単位が必履修となります。語学力を高め、グローバルな視野を広げます。

単位制の専門学科である舞台芸術科では、学習指導要領に基づく普通科と共通の必履修科目のほか、舞台芸術科の専門科目として演劇や舞踊に関わる必履修科目や自由選択科目を履修します。

本校の学習の大きな特色として「テーマ学習」、「テーマ研究」があります。「総合的な探究の時間」を使って、3 年間を通して自らの興味・関心のある事柄について研究します。1 年次には研究の方法や考え方、文章のまとめ方、発表の仕方などを学び、2 年次以降実験や体験考察などを加えながら研究を進めます。3 年次には研究の成果をテーマ研究発表会で全校生徒を対象に発表します。

授業は 9 時に始まり、月曜日のみ 1 日 3 時限、火～金曜日が 1 日 4 時限（1 時限 90 分）です。生徒は 150 を超える講座から自分の興味関心や適性、進路に合わせて科目を選び、自分に合った時間割を作成します。また、通年や半期の履修科目以外にも「スキー」などの長期休業中に実施される集中講座や、洗足学園音楽大学など連携している大学の講座を受講し単位として認定をすることもできます。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国特別募集によって入学した生徒は「国際文化コース」に所属します。授業は小集団学習を基本とし、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」で習熟度別学習が行われています。また、「コミュニケーション・スキルズ」などでは、ネイティブ・スピーカーの先生が担当するクラスがあります。さらに、英語上級者用に英語による発信力を高める「グローバル学習」といった特色ある講座も開講しています。

「国際文化コース」では、原則としてネイティブ・スピーカーの先生も担当する「ドイツ語」「フランス語」「ハンガール」「中国語」「スペイン語」の第二外国語を選択します。また、海外において日本の高校に相当する教育機関で学習されていた生徒に対して、その学習時間等に応じて単位認定を行っています。令和 8 (2026) 年 5 月現在、海外帰国生徒特別募集により 53 名の生徒が在籍しています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

生徒は、一人ひとりが目的意識を持って進路選択を行っています。大学へ進む生徒がほとんどですが、海外の大学に進む生徒を含め、様々な分野に進学しています。主な進学先は横浜国立大学、横浜市立大学、東京藝術大学、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、青山学院大学などです。



よこはまこくさい

神奈川県立横浜国際高等学校



所在地: 横浜市南区六ツ川一丁目731番 〒232-0066

電話: (045)721-1434

FAX: (045)742-9493

URL: <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamakokusai-h>

創立: 平成19(2007)年11月(平成20(2008)年4月開校)

課程: 単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
国際科	149	152	149	450
(国際バカロレアコース)	25	25	22	72
学級数	5	5	5	15

(生徒、学級数については令和8年4月1日現在)

〈学校案内図〉

利用交通機関

- 京浜急行線弘明寺駅より徒歩20分
又は「弘明寺口」よりバス5分「大池」下車徒歩6分
- 横浜市営地下鉄弘明寺駅より徒歩12分「弘明寺口」
よりバス5分「大池」下車徒歩6分
- JR戸塚駅「戸塚駅東口」よりバス25分「大池」下車徒歩6分



Kanagawa Prefectural Yokohama Senior High School of International Studies

〈帰国生徒への主な対応〉

- ・(1クラス20人以内の少人数学習)、英語の授業はネイティブ教員による特別クラスを設置
- ・国語、数学、地歴公民、理科での個別対応授業(国際バカロレアコースを除く)

〈特色ある教育活動〉

【国際科】

- ・多様な英語の専門科目を設置(イングリッシュ スルー メディア、ディベート・ディスカッションⅠなど)
- ・第二外国語が必修(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハンガール、アラビア語)
- ・外国語を母語とする教員による授業(令和8年度の該当教員は16名)
- ・姉妹校交流(令和7年度は、ニュージーランド、台湾、フランス、韓国 ※年度により変動あり)
- ・YIS English Workshop、留学生交流会、YIS 英語スピーチコンテストなど

【国際バカロレアコース】

- ・高等学校学習指導要領と国際バカロレア機構が定める教育内容の両方を満たすカリキュラムを実施
→日本の高校卒業資格と海外の大学に直接進学できるIBディプロマ資格の両方が取得可能
- ・英語と数学を英語で行う「デュアル ランゲージ ディプロマ プログラム(DLDP)」を実施
- ・令和2年度よりEnglish A(母語)と English B(外国語)の両方を設置

SOAR TO THE WORLD ~さあ 翔びたとう 世界へ!~

(1) 学校の特徴

横浜国際高等学校は「世界市民として自立し、将来、日本社会や国際社会におけるリーダーとして活躍する人材となるような生徒を育成する」を教育目標としています。平成26(2014)年度から平成30(2018)年度に文部科学省「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の指定を受けました。これ以降も、SGHに関連する教育内容を継続しつつ、外国語によるコミュニケーション能力や、世界に向けて情報発信できるICT活用能力・技術を育成するための充実した教育活動を行っています。平成29(2017)年度入学生より、国際科に改編され、平成31(2019)年度より国際バカロレアコースを新設しました。また、令和3(2021)年度より県教育委員会より「学力向上進学重点校エントリー校」の指定を受けています。

本校では授業の開始や終了を知らせるチャイムは鳴らさず、制服はブレザーを標準服として指定しています。生徒会活動や学校行事を生徒たちが自主的に運営します。

本校の教育活動の特色である国際交流は様々な形で展開されています。その1つは姉妹校交流です。ニュージーランド・台湾・フランス・韓国の姉妹校と訪問・受入の交流活動を行っています(実施国は年度・国際情勢により変動します。訪問のみの国もあります)。姉妹校交流以外にも外国からの訪問団(者)を積極的に受け入れています。令和7(2025)年度にはフランス、エクアドル、マレーシア等の国々から訪問者を受け入れました。受入れの際には生徒の「国際交流委員」が主体的に関わり、歓迎行事等を実施するのも本校ならではの特徴です。長期留学生としては、今までに韓国、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、ドイツ等の国々からの高校生を受け入れました。

また、特色ある教育活動としては、1年次にYIS English Workshopが行われ、外国語を母語とする人と3日間英語漬けの学校生活を送ります。さらに、「サマープログラム」では、高大連携協定校である「東京外国語大学訪問」を実施する等、本校の特色を反映した様々な企画を実施しています。夏には選抜された生徒たちによる「YIS英語スピーチコンテスト」が行われます。日本国際連合協会の後援を得た、ハイレベルなコンテストです。

(2) 教育課程

国際科では英語、英語以外の外国語、「国際」の学習に重点を置いており、16名もの外国語を母語とする教員がいるのも特色です(令和8年度)。英語の科目数は普通科の高等学校に比べてはるかに多く、「総合英語Ⅰ」「ディベート・ディスカッションⅠ」「エッセイライティングⅠ」「イングリッシュ スルー メディア」などの科目で、【読む・書く・聞く・話す】の4技能の育成を図ります。また、表現力を高めるために少人数クラスを

導入しています。英語以外の外国語は「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「ハングル」「アラビア語」の6言語の中から1科目を必修選択としています。また、「国際理解」「時事問題研究」等を設置し、国際社会の理解に重点をおいた学習も展開しています。

「総合的な探究の時間」は1年次は日本語によるテーマレポートの執筆やワークショップ、2年次は日本語による課題研究、3年次は英語による課題研究です。生徒は1年次で各自のテーマを決め、2年次は日本語で、3年次は英語で研究した内容を論文にまとめて発表します。優れたものについては全校生向けの発表会で発表します。2年次以降、特に3年次では科目選択の幅が大きく広がり、各自が能力・適性・進路希望等に応じて科目を履修できるのも本校のカリキュラムの特色です。

国際バカロレアコースでは、1年次で高等学校学習指導要領の定める必修科目を中心に学習し、2・3年次は国際バカロレアのディプロマ プログラム(DP)科目を中心に学習します。DP科目には、全員が学習するコア【TOK、CAS、EE】と6つの教科グループ【グループ1(日本語A/English A SL/HL)、グループ2(English B SL/HL)、グループ3(歴史 SL/HL)、グループ4(物理 HL、化学 SL/HL、生物 SL/HL)、グループ5(数学 SL/HL)、グループ6(音楽SL)】があります。6つのグループから1科目ずつ選択し2年間取り組みます。SL(標準レベル)3科目、HL(上級レベル)3科目の履修が必要で、グループ6の音楽の代わりにグループ4の化学を選択することもできます。

(3) 海外帰国生徒の学習

学習環境や学習量の違いを考慮して、国際科では国語、数学、地歴公民、理科で「個別対応授業」を実施しています。「個別対応授業」は少人数での指導を行います。また、英語の授業は、一般生徒より高度な内容を取り扱うAdvancedクラスを設けています。

帰国生徒には、海外在留経験を生かせる、国際理解や国際交流活動など多くの活躍の場があります。文化祭で展示や文集の発行をしたり、姉妹校訪問団や留学生を迎えたりする際には積極的に活動するなど、意欲的な活躍を期待しています。国際バカロレアコースでは令和2(2020)年度入学生より、英語を母語とする生徒向けのEnglish Aを設置しています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

横浜国際高等学校の海外帰国生徒のほとんどが4年制大学に進学しています。外国語・文学系、社会科学系などの文科系分野、理科系では薬学部や医療系などの分野にも進んでいます。進学者の多い大学としては、東京外国語大学、横浜市立大学、明治大学、立教大学、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、中央大学、青山学院大学などがあり、海外の大学への進学者も増えています。



しんじょう
神奈川県立新城高等学校
KANAGAWA PREFECTURAL SHINJO HIGH SCHOOL



所在地：神奈川県川崎市中原区下新城 1-14-1

電話：(044) 766-7457

FAX：(044) 752-7812

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/shinjo-h/

創立：昭和 37 (1962) 年

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

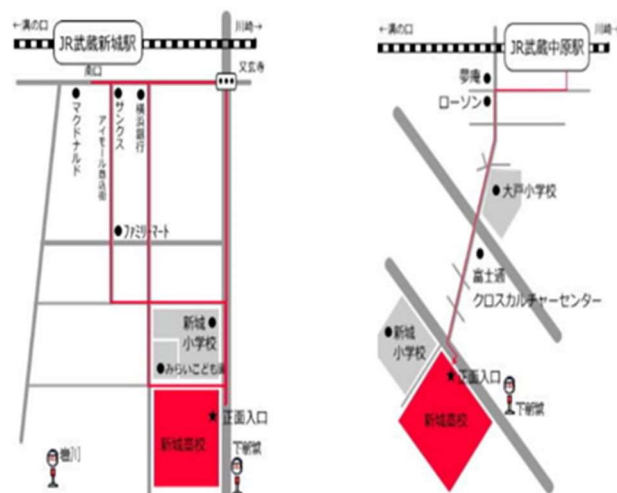
	1 年	2 年	3 年	計
普通科	276	274	275	825
学級数	7	7	7	21

(生徒、学級数については令和 8 (2026) 年 4 月 1 日現在)

〈学校案内図〉

利用交通機関

- J R 南武線 武蔵新城駅 徒歩 12 分
- J R 南武線 武蔵中原駅 徒歩 12 分
- 川崎市バス・東急バス「下新城」下車
徒歩 3 分
- 川崎市バス・東急バス「岩川」下車
徒歩 7 分



(1) 学校の特徴

川崎市のほぼ中央に位置し、J R 南武線武蔵中原駅、または武蔵新城駅から平坦な道を徒歩 12 分の閑静な住宅地にあります。昭和 38 (1963) 年に、地元の熱心な誘致活動によって開校した全日制普通科の高等学校で、昭和 60 (1985) 年から海外帰国生徒を受け入れてきました。令和 8 (2026) 年 4 月現在の生徒数は 825 名 (21 学級) で、生徒は伸び伸びとした雰囲気の中で、明るく勉学や部活動に日々励んでいます。自由な雰囲気の中でも自らを律し、互いに個性を尊重しあうことが校風となっており、海外帰国生徒は皆、本校にすぐに慣れ親しみ、各々の個性を活かすことができると述べています。

新城高校では、校訓である「清楚質実」のもと、学校教育目標として「1 幅広い学力の向上と主体的に学び、行動する力を養う」「2 多様性を尊重するコミュニケーション力と協働力を培う」「3 自己を確立し、社会性と調整力に富む人材を育成する」という 3 つの目標を掲げています。

特色の一つにシチズンシップ教育の取組みがあり、身近なことや社会の問題を自分の問題として考え、能動的に責任ある行動をとることができる市民としての態度や能力を養うことを目標として「総合的な探究の時間」や特別活動を通して、様々な教育活動を行います。また、令和 4 (2022) 年度からは県教育委員会から県立高校改革実施計画 (Ⅱ期) の中で、教育課程研究開発校「学習評価に係る研究」の指定を受けています。

学習面では、「学習評価に係る研究」指定校としての取組みと相まって、一人ひとりの興味・関心を知的探究へ深めるため「主体的・対話的で深い学び」への取組みやプレゼンテーション能力向上などをめざした授業を展開しています。また、卒業後の自分の将来像が描けるように 3 年間のキャリアプランづくり、キャリア講演会の実施、大学模擬授業体験等を通してキャリア教育を展開しています。

文化祭・体育祭に加えて合唱コンクールといった学校行事も大変盛んで、充実した高校生活を謳歌できます。また、部活動は、現在 25 部あり、毎年全校の 8 割を超える生徒が活動しています。

(2) 教育課程

平成 15(2003)年度から二学期制を導入し、平成 28(2016)年度からは 50 分週 32 コマの授業を実施しています。月曜日と木曜日は、7 校時まで授業があり十分な授業時間を確保しています。

新城高校では、基礎学力の充実向上と、それを発展させる幅広い選択科目を設定しています。3 年間を通して、生徒一人ひとりの能力や個性を引き出し、国公立・難関私立大学への入学や大学等の卒業後までを意識し、希望する進路を実現できるようなカリキュラムを編成しています（下部「新城高校カリキュラム」参照）。

1 学年：芸術「音楽、美術」の選択以外は必修科目で基礎学力を養います。

2 学年：必修科目で基礎学力を定着させるとともに、選択制を導入し希望進路の実現に早期から取り組みます。

3 学年：多様な選択科目で、興味・関心・進路希望に応え、進路実現をめざします。

詳細については、今後、変更の可能性もありますので、学校見学、ホームページ等でご確認ください。

新城高校カリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
	必修																			必修選択		必修												
1 年	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学Ⅰ			数学A			物理基礎		化学基礎		体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭基礎		情報Ⅰ		探究	LHR					
	2	2	2	3			2			2		2		3			1	2	3			2		2		2		1	1					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
	必修																											必修選択						
2 年	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	公共			数学Ⅱ			数学B		数学C	生物基礎	体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		日本史探究 世界史探究 物理 化学 音楽Ⅱ 美術Ⅱ			探究	LHR							
	2	2	2	2	2			3			2		1	2	2		1	4			2		3			1	1							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
	必修											必修選択									自由選択													
3 年	論理国語	体育			英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		日本史探究 世界史探究 数学Ⅰ 数学Ⅲ 英語コミュニケーションⅡ			古典探究 数学Ⅱ 数学C 英語コミュニケーションⅡ 日本史探究 世界史探究 地理探究			古典探究 倫理 政治・経済 物理 化学 生物 音楽Ⅲ 美術Ⅲ			文学国語 国語表現 数学A(半期) 物理 スポーツⅡ フードデザイン			国語表現 数学B(半期) 化学 素描 演奏研究		生物 論理・表現Ⅱ		数学C(半期) 数学Ⅲ 保育基礎		探究	LHR					
	2	3			4			2		3			3			3			2		2		2		2									

※自由選択科目の（半期）は前期のみの半期認定科目

※カリキュラムは変更する場合があります。

(3) 海外帰国生徒の学習

令和 8 年(2026)年 4 月現在、海外帰国生徒は 26 名（1 学年 8 名、2 学年 9 名、3 学年 9 名）が在籍しています。海外帰国生徒特別募集、編入学など入学時期は異なりますが、伸び伸びと学校生活を送っています。

クラス編成については、海外帰国生徒は一般生徒と特に区別せず、一緒に学べるようになっています。同じ教育課程で学習しますが、海外生活で不足しがちな国語・数学・理科・地歴・公民及び外国語の 6 教科について、基礎学力の補充のため、本人の学力の状態や希望により、必要に応じて放課後等を利用して補習などを行うことにしています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

新城高校の生徒のほとんどが、上級学校へ進学しています。海外帰国生徒もほとんどが大学への進学を希望し、実際に進学しています。なかには、帰国生徒であることを生かした受験をする生徒もいます。大学進学などの第一志望を叶えるためには、一定の努力は必要ですが、目的意識を持って進路選択を行い堅実に学習に取り組んでいけば、進路面で不安を感じることはありません。



神奈川県立

せいしょう

西湘高等学校



所在地：小田原市酒匂1丁目3番1号 〒256-0816

電話：(0465) 47-2171

FAX：(0465) 48-2350

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/seisho-h/

創立：昭和32(1957)年2月

課程：全日制

設置学科・生徒数・学級数

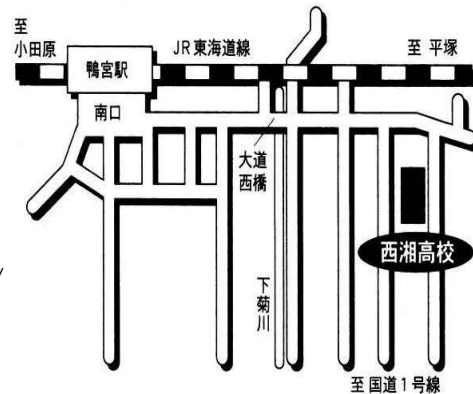
	1年	2年	3年	計
普通科	342	308	312	962
学級数	9	8	8	25

生徒、学級数については令和8(2026)年4月1日現在

<学校案内図>

利用交通機関

●JR東海道線鴨宮駅南口より
平塚方面へ徒歩8分



(1) 学校の特徴

- 駅から近く自然に恵まれた環境のもと、ひかり輝き次世代に羽ばたく人材を育てています。平成28(2016)年度より神奈川県の指定を受け、プログラミング教育(論理的思考力を身につけ、協働して問題解決に取り組むことのできる人材の育成)の推進に取り組んでいます。さらに、文部科学省より令和6年度から高等学校DX加速化推進事業の指定を受け、VRを活用した体験授業や先端科学技術を学ぶ講義等を授業で扱っています。今後も新しい取り組みを進めていきます。
- 90%近い生徒が部活動(運動部 19・文化部 8・同好会 4)に入部しており、放課後の校内は活気に満ち溢れています。令和7(2025)年度は、陸上競技部、男子ソフトテニス部、弓道部、少林寺拳法部、特設ボクシング部が関東大会以上の上位大会に出場しました。その他の部活動も盛んで、多彩な行事に生徒が主体的に取り組むことにより、リーダーシップやコミュニケーション能力を養い、課題を自ら解決していく力を身につけていきます。
- 西湘高校の誇れる1つに学習環境があります。どの県立高校よりも明るい校舎内は、風通しが良く綺麗なフロアにより清々しい気持ちで過ごすことができます。トイレには誰でも使えるみんなのトイレやシャワートイレの付いた個室もあり、明るいカラーで公立高校のトイレと思えない気持ち良さです。全てのホームルーム教室に電子黒板が配備され、Wi-Fiは全教室で利用できます。手入れの行き届いたテニスコート7面と広々とした体育館、常に整地されたグラウンド等を是非見に来てください。

(2) 教育課程（令和9（2027）年度入学生の教育課程（予定）です。）

二期制の全日制普通科高校です。

令和9年度入学生用教育課程																																		※ 教育課程は変更になることもあります。											
1 学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33											
	共通	現代の 国語	言語 文化	地理 総合	歴史 総合					数学 Ⅰ	数学 Ⅱ	化学 基礎	生物 基礎	体育	保健	※ 芸術 選択	英語コ ミュニ ケーションⅠ	論理・ 表現Ⅰ	情報Ⅰ																総合 探究	HR									
※ 芸術選択（2単位）：音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰから1科目選択する。																																													
2 学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33											
	I 型	論理 国語	文学 国語	古典 探究	公共					数学 Ⅱ	数学 Ⅲ	※① 理科 選択	※② 地歴 選択	化学	体育	保健	英語コ ミュニ ケーションⅡ	論理・ 表現Ⅱ	家庭 基礎																総合 探究	HR									
※① 理科選択（2単位）：物理基礎、地学基礎から1科目選択する。																																													
※② 地歴選択（3単位）：地理探究、日本史探究、世界史探究から1科目選択する。																																													
		全員履修									選択科目																	自由選択																	
3 学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33											
	α 型	英語コ ミュニ ケーションⅢ	論理・ 表現Ⅲ	体育							論理国語	古典探究																																	
																																						地理探究	地理発展	文学 国語	必修 選択 A	B	C		
																																						日本史探究	日本史発展						
																																						世界史探究	世界史発展						
	基礎数理探究																																												
β 型	β 1																																												
																																						基礎数理探究	物理	現代の 国語	言語文 化	B	C		
																																						生物	化学						
	β 2										数学Ⅲ	数学C																																	
選択		単位数		α 型										β 型										数学C																					
自由選択B		2単位		演習研究、英語コミュニケーションⅡ、化学基礎、地学基礎										数学C										演習研究、英語コミュニケーションⅡ、国語表現										数学C											
自由選択C		2単位		論理・表現Ⅱ、生物基礎、情報Ⅱ																				論理・表現Ⅱ、情報Ⅱ																					
自由選択D		4単位																						化学																					
※自由選択Bと自由選択Cにおいて、数学C(3単位)も選択できる。ただし、その場合は他の自由選択科目を履修選択できない。																																													
※α型について ①必修選択Aは、数学Ⅰ＋数学Ⅱまたは、英語コミュニケーションⅡから1つ選択する。																																													
②必修選択Aの英語コミュニケーションⅡと自由選択Bの英語コミュニケーションⅡは同時に選択できない。																																													
③地歴探究（3種類）または基礎数理探究から1つを選択する。（地歴発展科目も地歴探究と同様に選択）																																													
※β型について ①専門理科（物理、生物、地学）は、履修済みの各理科基礎科目から1科目を選択できる。																																													
②β1型は、現代の国語＋言語文化または、化学から1つ選択する。化学選択者は自由選択科目で化学を選択できない。																																													
③β2型は、自由選択科目の数学Cを選択できない。																																													

1 学年は必修科目を中心とした基礎固めを行い、2 学年から進路に応じて文系と理系に分かれます。3 学年も同様ですが、自分の適性や進路実現にむけての選択を大幅に強化しています。

(3) 海外帰国生徒の学習と、卒業後の進路

海外帰国生徒枠（特別募集）で入学してくる生徒もいます。海外帰国生徒は、外国語が得意な生徒も多くいますが、他の教科や科目に興味を持ち、前向きに授業に取り組む姿もととても印象的です。海外帰国生徒の皆さんは、それぞれの夢に向かって充実した進路選択を実現しています

(4) 生徒会長から～西湘生を紹介します～

西湘高校は、1 人ひとりが自分なりの高校生活を創り上げていくことができる学校です。生徒たちは自分の目標に向かって、勉強や部活動などに全力を注いだり、高校生らしく友達と放課後を楽しんでいたりしています。このように自分が「何をするか」によって、3 年間の青春を自分色に染めることができる学校です。

しっかりやるべき時は真剣に取り組む、行事では思いっきり盛り上がる。そんな仲間たちが皆さんを待っています。西湘高校であなた色の3 年間を創りあげましょう。



つるみね
神奈川県立鶴嶺高等学校



〈学校案内図〉

利用交通機関

- JR 相模線 北茅ヶ崎駅 下車 徒歩 12 分
- JR 東海道線 茅ヶ崎駅
北口①②番乗場よりバス乗車
「ニュータウン入口」下車 徒歩 2 分
※①②番からのバスは、すべて
「ニュータウン入口」を通ります。

所在地 神奈川県茅ヶ崎市円蔵 1 丁目 16 番 1 号

電 話 (0467) 52-6601

FAX (0467) 54-2124

URL <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/tsurumine-h/>

創 立 昭和 50 (1975) 年

課 程 全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1 年	2 年	3 年	計
普 通 科	386	386	384	1,156
学 級 数	10	10	10	30

(生徒、学級数については令和 8 (2026) 年 4 月 1 日現在)



(1) 学校の特徴

○学校の概要

昭和 50 (1975) 年に開校し、今年、創立 51 年目を迎えました。本校では開校当初から、毎年、海外帰国生徒や外国人留学生を受け入れてきました。

これまでの卒業生数の合計は 19,784 名で、国内外の各分野で活躍しています。バス通りから正門に至るまでのイチョウ並木、緑豊かな中庭が本校の歴史と伝統を感じさせています。

○教育方針・教育目標

「教養豊かにして国際感覚に富み、心身ともに健康で意志強く、常に相手の立場を尊重して行動できる人間を育成する。」を教育方針とし、「豊かな知性と徳性の涵養、充実した体力の育成、個性と能力の開発、広い視野の養成」を教育目標としています。

外国人の先生と英語を楽しく学びながら、学力をつけるとともに、豊かな国際感覚を育てることを目標に、グローバル教育を推進しています。これまで 18 年間にわたりイギリスの高等学校、6 年間にわたりニュージーランドの高等学校と交流があります。ニュージーランド、イギリスの学校にそれぞれ約 20 名の生徒が訪問し、現地でホームステイをしながら、学校に通い日本文化のプレゼンテーションを行ったり、現地の生徒と一緒に勉強したりしながら交流を深めています。

一方、青少年赤十字(JRC)や国際交流委員会を中心に、ボランティア活動への参加も盛んです。

○学校行事

全生徒がゆかた姿で踊る民踊が名物の体育祭、9月には文化祭があります。「ワールド・スポーツ・フェスティバル」といった生徒が企画する学校行事もあります。また、クラス対抗で競う合唱祭も恒例の行事です。修学旅行は令和7(2025)年度から関西方面に行っています。

○部活動

運動部は男女合わせて20部、文化部は12部、同好会が3団体あります。約60%の生徒が部活動に所属していて、活動は非常に盛んです。

令和7(2025)年度は、陸上競技部は女子走り幅跳び・女子5000m競歩で南関東大会とインターハイへ進出し、男子ソフトテニス部は関東大会とインターハイに出場しました。女子バレーボール部は関東大会に出場しました。今後もさらなる活躍を目指しています。

○施設・設備

特別教室を含む54教室にエアコンを設置するなど、快適な学習環境を整備しています。令和6年度からは各教室に電子黒板が導入されました。国際交流室やコンピュータールーム、トレーニング機器を備えたトレーニングルームなどもあります。また、自習室では、放課後や夏休み中にも登校して勉学に励む生徒の姿が見られます。

(2) 教育課程

3学期制の普通科の学校として、学習活動を充実させています。また、新しい大学入試制度に対応する英語4技能を伸ばす取組を行っています。

1学年から総合的な探究の時間(グローバルスタディーズ)でグローバル教育を推進しています。また、2学年では進路に応じて科目選択を行い、さらに3学年においては、進路目的に沿ったより細やかな科目選択が可能な教育課程を編成しています。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒の入学のための特別募集が、各学年15名、計45名あります。現在、1学年3名、2学年4名、3学年10名の海外帰国生徒が在籍しています。

海外帰国生徒はできるだけ早く本校の教育になじむように、一般のクラスルームに所属します。しかし、海外帰国生徒の在留国および在留年数が多様であり、また、日本語の理解力や現地校の学習科目・学習進度が異なっているため、いくつかの科目で「個別(小集団)授業」を行っています。その科目の特別授業を受けるかどうかは、担当の先生との話し合いによって決めます。

日本語の理解も進み、本校の授業にも慣れてきたら、担当の先生と相談し、その結果により学期の途中で所属クラスの授業に戻ることも可能です。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

「入れる大学」ではなく「入りたい大学」を目標に、多くの生徒が進学を目指しています。



さがみはらやえい
神奈川県立 相模原弥栄高等学校



<学校案内図>

利用交通機関

- JR横浜線淵野辺駅南口より
 - ・徒歩25分
 - ・バス「青葉循環～淵野辺駅南口」行き「弥栄小学校前」下車徒歩3分
 - ・バス「水郷田名／上溝団地／田名バスターミナル」行き「栄公園前」下車徒歩8分
- 小田急線相模大野駅北口より
 - ・バス「大野台経由JR相模原駅」行き「青葉児童館前」下車徒歩3分

所在地：相模原市中央区弥栄三丁目1番8号 〒252-0229
 電話：042(758)4695
 FAX：042(751)6137
 URL：http://www.pen-kanagawa.ed.jp/sagamiharayaei-h/
 創立：令和元(2019)年11月(令和2(2020)年4月開校)
 課程：単位制による全日制
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	195	197	196	588
音楽科	38	37	37	112
美術科	38	39	39	116
スポーツ科学科	80	80	78	238
学級数	9	9	9	27

(生徒、学級数については令和8(2026)年4月1日現在)

本校付近略地図



(1) 学校の特徴

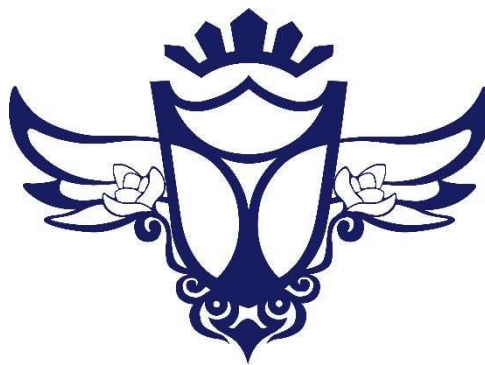
【概要】

本校は前身である弥栄高等学校の4つの専門学科(国際科、芸術科、スポーツ科学科、理数科)を、平成29(2017)年度から学科改編し、普通科と専門学科(音楽科・美術科・スポーツ科学科)を併置した単位制の個性教育を推進する高校です。そして令和2(2020)年度からは相模原青陵高等学校と統合し「相模原弥栄高等学校」としてスタートしました。普通科では、これまでの国際科と理数科レベルの教育を引き継ぎ、様々な学校行事を通して人間的成長を図りながら、国公立大学・難関私立大学への進学をめざした教育を行っています。

平成3(1991)年度から海外帰国生徒特別募集を始めました。現在9名が普通科に在学中ですが、日本での学校生活にも慣れ、クラスの中にとけこみ、勉強にも部活動にも積極的に取り組み、有意義な高校生活を送っています。

主な学校行事(体育祭・文化祭など)は、生徒が中心となり企画段階から取り組み、大いに盛り上がります。本校は部活動が大変盛んで、約90%の生徒が部活動に加入し、熱心に活動しています。

令和7(2025)年度には陸上競技部、水泳部、美術部が全国大会に、サイエンス部は全国大会と世界大会に、女子バスケットボール部、バドミントン部、剣道部が関東大会に出場しました。



普通科と3つの専門学科

SAGM Synergy

さがみ シナジー

授業や、各種発表会、部活動などを通じて学科間交流を積極的かつ効率的に行い、思考力・表現力・創造力を育成し、他者を尊重しあう態度を身に付けます。それぞれの学科間の専門性が発揮され、互いに刺激し合い、互いに高めていく相乗効果が生まれます。それがSAGM Synergy (さがみシナジー)です。令和9年度まで、本校は神奈川県指定STEAM教育研究推進校となりました。全学科で切磋琢磨し、さまざまな場面で研究を進めています。



×



×



×



体育・スポーツの活動及び学科行事を通して、生涯にわたり体育・スポーツ分野で活躍できる教育を提供します。野外、水辺、スキー、スケートなど多くの実習を行います。

美術大学進学をめざし、これまで取り組んできた教育活動を更に充実させ、将来美術工芸分野で活躍できる教育を提供します。専攻ごとに実習できる施設が設置されています。

生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数教育を重視した教育活動を行います。表現活動（国際）、学術探究（理科）など本校独自の選択科目を設置しています。

音楽大学進学をめざし、これまで取り組んできた教育活動を更に充実させ、将来音楽分野で活躍できる教育を提供します。専攻実技では専門講師による個別レッスンをを行います。

【施設】

体育館2棟、野球・サッカー・陸上競技が同時に活動できる広いグラウンドがあります。この他にテニスコート（全天候型7面・壁打ち1面）、芸術表現実習室兼視聴覚室、防音の個人レッスン室が26室、自習室、大トレーニングルーム、図書室、情報学習室2室、CG教室など充実した設備があり、学習に活用することができます。

相模原弥栄高校の周辺には、小・中学校、短期大学、国民生活センター、宇宙科学研究所、相模原球場、市立博物館、アイススケート場、プールなどの施設があり、緑豊かな恵まれた学習環境となっています。

（2） 教育課程

普通科と専門学科を併置した単位制の高等学校です。週当たりの授業時数は最大31時間（単位）になり、3年間で80単位以上の授業を履修します。

普通科では、共通教科・科目を広く履修するとともに、生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数の教育を重視した科目を多く取り入れています。

選択科目には、「フランス語」、「ドイツ語」、「スペイン語」、「中国語」、「イタリア語」、「ハンデル」といった第二外国語や、「学術探究」、「表現活動」、「総合舞台芸術」といった本校ならではの学校設定科目も設置されています。

（3） 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒特別募集は、普通科において実施しています。生徒が日本の高等学校教育に早くなじめるように、他の生徒と一緒に授業を受けます。学習が遅れていると考えられる教科・科目については、必要に応じて「個別対応授業」を行います。「個別対応授業」は日本語の習得と各教科の基礎学力の充実を目標とし、できるだけ他の生徒と同じ授業にスムーズに入っていけるようにすることを目標としています。

（4） 海外帰国生徒の卒業後の進路

4年制大学への進学を希望する生徒が多く、それぞれの目標に向かって頑張っています。

得意な語学や海外での経験を活かした入試を利用する生徒が多くみられます。

最近の卒業生の主な進路先としては、獨協大学、帝京大学、杏林大学、神奈川大学などがあげられます。



神奈川県立 伊志田高等学校



所在地：伊勢原市石田 1356 番地 1 号 〒259-1116
電 話：(0463) 93-5613
FAX：(0463) 96-2961
URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ishida-h/
創 立：昭和 51 (1976) 年 1 月
課 程：全日制
設置学科・生徒数・学級数

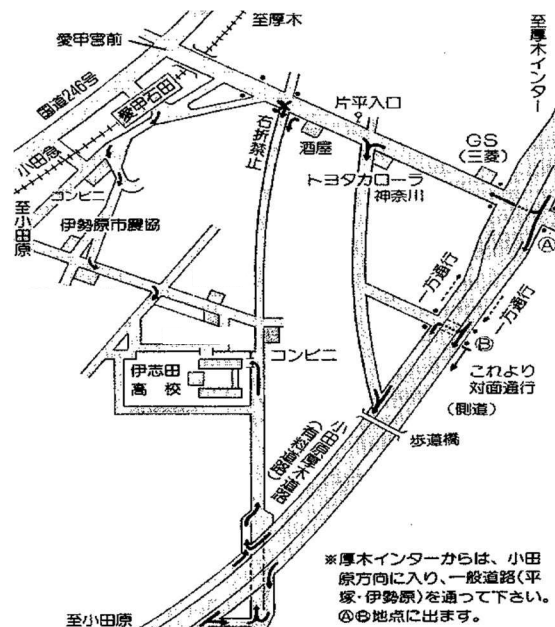
	1 年	2 年	3 年	計
普 通 科	315	279	268	862
学 級 数	8	7	7	22

(生徒、学級数については令和 8 (2026) 年 5 月 1 日現在)

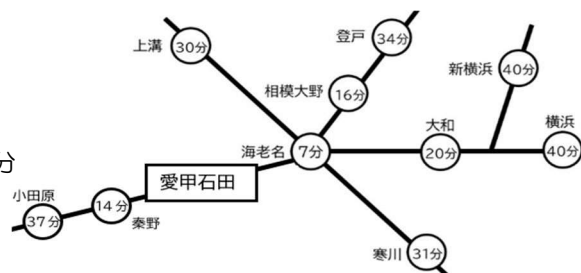
<学校案内図>

利用交通機関

●小田急線愛甲石田駅下車徒歩 7 分



小田急線で秦野駅から 4 駅 14 分、海老名駅から 2 駅 7 分
愛甲石田駅から徒歩で 7 分の好立地の学校です。



(1) 学校の特徴

○学校の概要

神奈川県立伊志田高等学校は昭和 51 (1976) 年に開校し、平成 29 (2017) 年度より海外帰国生徒の受け入れを開始しました。令和 8 (2026) 年度現在で 1 学年 8 クラス、2、3 学年 7 クラスの全日制普通科の高等学校です。愛甲石田駅から徒歩 7 分という、非常に通いやすい立地にあります。

○施設・設備

体育館、プール、テニスコート (4 面)、図書室などの設備の他、自習室等快適な学習環境を整えています。

○学校行事

平成 29 (2017) 年 6 月、29 年ぶりに再開された体育祭と例年 9 月初旬に行われる文化祭を合わせて「宿志祭」とし、それぞれ体育部門・文化部門と称して生徒会最大の行事と位置付けています。体育部門では応援合戦が行われ、4 色の対抗戦を盛り上げています。

○部活動

伊志田高等学校は、以下の部が活動しています。部活動の入部率は 80.9% (令和 8 (2026) 年 5 月 1 日現在) と高く、活発に活動が行われています。

令和7(2025)年度の実績は、吹奏楽部が神奈川県吹奏楽部コンクールで金賞を受賞し、東関東吹奏楽部コンクールへの出場を果たしました。また、華道部がいけばな全国大会で優勝、茶道部は神奈川県高等学校総合文化祭茶道部門において文化連盟会長賞を受賞しました。他にも地区大会等で好成績を残している部活動や地域に貢献している部・同好会もあり、生徒は日々一生懸命取り組んでいます。

文化部

吹奏楽、フォークソング、合唱、軽音楽、茶道、華道、漫画研究、美術、クッキング、自然科学、写真、ESS（同好会）、ボランティア（同好会）

運動部

野球、陸上競技、バドミントン、男子・女子バレーボール、男子・女子バスケットボール、男子・女子テニス、剣道、柔道、サッカー、山岳、卓球、水泳、ダンス、ドッジボール

（２）教育課程

現在は1年生の論理・表現Ⅰおよび2年生の論理・表現Ⅱは少人数クラスで授業を展開しています。また、2年生の数学Ⅱの授業でも習熟度別にクラス編成を行い、生徒の学力向上に努めています。令和5年度入学生より2年生で文系・理系に分かれ、生徒の多様な進路希望に対応するための選択科目を設置しています。

（３）海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒も一般のホームルームに所属し、他の生徒とともに学校生活を送ります。他の生徒たちとともに学び、教科外活動や学校行事でも多くの生徒たちと触れ合い交流しながら、日本語や日本の生活習慣を学ぶことで、社会性や、卒業後日本で生活していく術を身に付けていきます。

（４）本校の国際理解教育について

伊志田高校は国際理解教育を推進しています。

○留学生の受け入れ

本校には、海外からの留学生が毎年常時1～3名程います。1・2学年のクラスに所属し、他の生徒たちと一緒に授業を受けています。また、他のクラスの英語の授業に参加するなどの交流の場を設けています。

○国際理解講演会

10月に伊勢原市民文化会館で講演会を行っています。講師には、海外経験のある方などをお招きしています。

○異文化体験教室

1月に校内で異文化体験教室を開催しています。令和7年度は、ジャマイカ出身の本校ALTであるA. Watkis先生を迎え、ジャマイカの伝統的スイーツ「スイート・ポテト・プディング」についてのお話を伺い、実際に食べてみる体験もしました。

○スピーチフェスティバル

1年生各自がテーマを決めて英語でスピーチをします。その後は各クラスから選ばれた優秀なプレゼンターが1年生の生徒全員の前でスピーチを披露します。

○日産テクニカルセンターの外国人スタッフによる英語の授業

3月に近隣の日産テクニカルセンターより外国人スタッフを招き、英語の授業を行います。出身国についてのプレゼンテーションやQ&Aを通し生徒の国際的な視野を広げます。

（５）海外帰国生徒の卒業後の進路

ほとんどの生徒が4年生大学への進学を希望し、目的意識を持って勉学に励んでいます。中には語学力を活かした受験をする生徒もいます。



横浜市立 東高等学校

ひがし



所在地：横浜市鶴見区馬場3丁目5番1号 〒230-0076

電話：045(571)0851

FAX：045(585)5780

URL：https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/hs/higashi/

創立：昭和38(1963)年2月

課程：単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

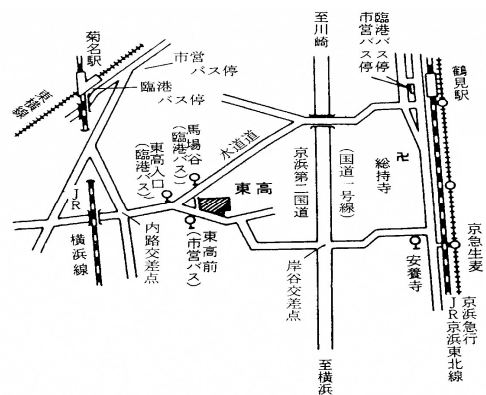
	1年	2年	3年	計
普通科	272	265	272	809
学級数	7	7	7	21

(生徒、学級数については令和8(2026)年4月1日現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- JR・京浜急行線鶴見駅より
 - ・臨港バス(01系統)「東高校入口」又は「馬場谷」下車
 - ・市営バス(38,41系統)「東高校前」下車
- JR横浜線・東急東横線菊名線駅より
 - ・臨港バス(01系統)「東高校入口」又は「馬場谷」下車
 - ・市営バス(41系統)「東高校前」下車



(1) 学校の特徴

本校は、ユネスコスクールとして、持続可能な社会の創り手を育てることを目標に、海外帰国生徒を含む多様な背景をもつ生徒が互いに学び合う環境の中で、一人ひとりの主体性と行動力を育てています。目指すのは、与えられた課題をこなすのではなく、自ら考え、選び、行動し、社会に関わっていくことができる人材です。

日々の授業では自分の考えを深め、他者との対話を通じて学びを広げています。学校行事や部活動では生徒が中心となって企画や運営に関わり、仲間と協働しながら挑戦を重ねています。ボランティア活動や地域・社会と関わる体験活動も盛んで、学校の枠を超えて多様な学びの機会があります。学校として国際理解教育やアントレプレナーシップ教育にも取り組み、異文化への理解を深めるとともに、新しい価値を創造する、グローバルに活躍する視野を育てています。

こうした学びと経験の積み重ねを通して、生徒は多様性を尊重しながら自分の考えを持ち、行動に移す力を身に付け、社会に主体的に関わる人へと成長していきます。

(2) 教育課程

1・2年次では共通履修科目を多くして基礎・基本の充実を図り、国公立大学受験にも対応できる科目を配置しています。3年次では幅広い選択科目の講座を設置し、卒業後の進路希望に対応しています。各年次6時間ずつ英語の共通履修科目があることと少人数制授業が特徴です。

(3) 海外帰国生徒の学習

昭和57(1982)年度に海外帰国生徒特別募集を開始しました。現在、全校合わせて16名の帰国生徒が在籍しています。

入学の際に、国際部帰国生担当が本人及び保護者から、渡航前や滞在国での様子及び帰国後の状況等を詳しく聞き、以後の指導の参考としています。また、本校の特色や教育方針・教育内容等を十分に説明しています。入学後は、担任や教科担当者、部活動担当者と連絡を取りながら個別面談も行っています。

なお、海外での学習経験からくる学習内容の違いに対応するため、海外帰国生徒対象の個別対応授業を、次の内容で実施しています。

ア 補完教育

海外生活での学習内容を補充する目的で、1・2年次については、「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「英語」の授業において行っています。3年次については、「国語」の授業で行っています。

イ 伸長教育

海外で身につけた国際性や知識等をはじめとして、特に語学力の保持・伸長を目的に、1・2年次の英語のうち、海外帰国生徒については本校職員が英語指導助手（AET）とチーム・ティーチングの形態をとりながら、一般クラスとは別の教材も用いて授業を行っています。

（４） 海外帰国生徒の卒業後の進路

4年制大学への進学を希望する生徒が多く、それぞれの進路に向かって努力しています。なお、文科系ばかりではなく、工学部・薬学部等の理科系を希望する生徒もいます。生徒によって受験の形態は様々ですが、海外で習得した語学力を大いに生かしています。

（５） 本校の帰国生徒教育体制

帰国生徒の受入れにあたって、受入れ業務及び研究活動をより円滑に行うために、校内に次のような組織及び施設を設けています。

ア 国際部

帰国生徒の（編）入学相談等の窓口、入学後の帰国生徒教育に関わるサポート及び留学、学校間交流等の国際理解教育を担当しています。

イ 帰国生徒担当者会

帰国生徒クラス担任、学年主任、個別対応授業担当者等が出席し、情報交換等を行っています。

ウ 個別対応授業用の小教室

個別対応授業のために、半教室分の広さの部屋を2教室設けています。定員は20名で、空調を完備し、放課後や夏季休業中の補習にも活用しています。

（６） 入学・説明を希望する皆さんへ

本校の海外帰国生徒特別募集に関心がある方は、できるだけ早めに本校国際部に連絡をしてください。一人ひとりの状況を伺い、それに応じた説明をいたします。

横浜市立東高等学校 (045)571-0851 (代)

Ⅳ よくあるお問合せ

下記Q&Aにある「外国において学校教育における9年の課程」とは、正規の教育機関として認められている学校での9年の課程を意味します。海外の現地校やインターナショナルスクールに在籍している人は、在籍校が当該外国において正規の教育機関として認められているかどうか不明な場合、在日大使館を通じて確認してください。

1 志願資格について

Q 現在15歳で、アメリカの現地校9年生です。今年（令和8（2026）年）12月に帰国する予定ですが、高等学校に志願できますか。

A 日本（学校教育法）では、「満十五歳に達した日の属する学年の終わりまで、中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部に就学させる」ことになっていますので、現地校9年生の途中あるいは修了していても、帰国時に15歳以下であれば、令和9（2027）年3月までは中学校等に在籍する必要があります。速やかに日本の中学校へ編入学してください。（転居先の各市町村教育委員会へお問い合わせください。）日本の中学校で高等学校への志願手続きができます。

Q 海外の日本人学校中学部3年生です。来年（令和9（2027）年）3月に帰国する予定ですが、高等学校に志願できますか。

A 神奈川県公立高等学校全日制へ志願するためには、次の3つの条件をすべて満たしている必要があります。

- ①令和9（2027）年3月31日までに中学校等を卒業又は卒業見込み（外国において学校教育における9年の課程を修了又は修了見込み）であること
- ②志願者及び保護者（親権者又は未成年後見人）が神奈川県内に住所を有すること
- ③平成24（2012）年4月1日以前に出生していること

2ページ記載の「志願資格承認申請」を行い、県教育長の承認を得ることで、志願することができます。日本人学校在籍の場合、各手続は在籍している日本人学校を通して行います。保護者は海外に残り、志願者本人のみ帰国する場合、全日制の志願資格はありませんので、ご注意ください。（保護者とは親権者又は未成年後見人になるので、祖父母等は保護者に該当しません。）

Q 現在15歳で、アメリカの現地校9年生です。来年（令和9（2027）年）3月に帰国する予定ですが、高等学校に志願できますか。

A 現地校の多くは、6月に修了となっているようです。現地校9年生の途中で帰国した場合、「外国において学校教育における9年の課程を令和9（2027）年3月31日までに修了又は修了見込みであること」を満たさないなので、志願できません。

令和9（2027）年の6月に9年生を修了した時点で帰国し、志願資格を満たしていれば、高等学校の編入学者募集か、県立神奈川総合高等学校で実施する海外帰国生徒特別募集の後期募集に志願することができます。編入学については、あらかじめ転編入学情報センターにご相談ください。（編入学については7ページ、県立神奈川総合高等学校の後期募集については募集案内Ⅰ・Ⅱを参照してください。）

Q 共通選抜と同日程で行う海外帰国生徒特別募集に志願した後、同じ年度に実施する神奈川総合高等学校の後期募集に志願することはできますか。

A 神奈川総合高等学校の後期募集は、現地校を令和9(2027)年6月に修了した等により、令和9(2027)年2月に実施する入学者選抜を受検できなかった者等を対象としているため、令和9(2027)年2月に実施する入学者選抜を受検できる方は、神奈川総合高等学校の後期募集に志願することはできません。

2 志願等の手続について

Q 令和9(2027)年度神奈川県公立高等学校入学者選抜の志願に必要な書類等は、どのような方法で手に入れることができますか。

A 神奈川県教育委員会のホームページ上ですべてダウンロードすることができます。詳細につきましては、以下のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kengaikaigai.html>

上記ホームページに、志願手続についての説明動画を掲載(11月下旬予定)しますので、ご活用ください。

Q インターネット出願の手続方法について詳しく知りたいです。

A 志願手続の概要についてはこのたびきの5ページに掲載しています。詳細な手続方法については、10月下旬頃(予定)に神奈川県教育委員会のホームページで案内するので、必ずご確認ください。



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kengai-kaigai-shiritsu-netshutsugan.html>

Q 海外から帰国して受検する予定です。神奈川県内の持ち家に住む予定なのですが、志願資格承認申請の際に「転居予定先の住所を確認できる書類」として何を準備すればよいでしょうか。

A 持ち家の所有者名義が保護者の場合、家屋の登記簿謄本または登記事項証明書(いずれも発行後6か月以内のもの)を用意してください。発行については、法務局にお問い合わせください。また、持ち家の所有者名義が保護者以外(親戚等)の場合は併せて同居同意書(第20号様式)の提出が必要です。

Q 海外帰国生徒特別募集への志願を予定しています。志願先の高校で特別募集の志願資格の確認の際に必要なものは何でしょうか。

A 日本国籍を有し、保護者に伴って、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が令和6（2024）年3月1日以降（県立神奈川総合高等学校の後期募集の場合は、令和6（2024）年9月1日以降）であることを確認できる書類を用意してください。具体的には、本人と保護者のパスポート（または出入（帰）国記録）です。出入国の日付を確認するので、パスポートにスタンプ（証印）が押印されていない場合は出入（帰）国記録を用意してください。出入（帰）国記録の発行については出入国在留管理庁にお問い合わせください。また、パスポートや出入（帰）国記録が用意できない（例：本人の帰国が出願期間より後になる）場合、保護者の勤務先の所属長等の証明書を用意してください。

Q 保護者の勤務先の所属長等の証明書をを用意する場合、どのような内容を記載すればよいでしょうか。

A 様式は任意ですが、次の項目を含むよう保護者の勤務先の所属長等の証明書を用意してください。

- (1) 海外赴任者の氏名（保護者の氏名）
- (2) 海外赴任先の国名等
- (3) 海外赴任期間
（例）令和6年4月1日～令和9年3月31日（予定）
- (4) 帯同家族氏名・続柄
- (5) 帯同家族の帯同期間
（例）勤務者の赴任期間に同じ
- (6) 勤務先情報および社印（勤務先に社印がない場合は、所属長のサイン）
 - ・ 勤務先名称
 - ・ 所属長氏名
 - ・ 所在地および連絡先

3 選考について

Q 海外から帰国して受検する人で、調査書の学習の記録が整っていないような場合は不利にならないでしょうか。

A 調査書の評定が5段階の目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）によって作成されていない、あるいは海外の現地校に在籍しているため調査書を作成できない等の場合は、資料の整わない者として、参考にできる資料を活用し、適正に選考することとしておりますので有利不利はありません。（選考の方法等は、募集案内Ⅰ・Ⅱおよび志願のてびき（11月中旬頃発行予定）をご覧ください。）

Q 海外の日本人学校を卒業予定で受検します。調査書の評価・評定は神奈川県内の公立中学校に在籍している人と同じように扱われますか。

A 調査書の「各教科の学習の記録」の欄について、中学校学習指導要領に示す目標に照らして総括的に評価した、3段階による観点別学習状況の評価（A、B、C）および5段階による評定（いわゆる絶対評価）であれば、調査書の評価・評定は、神奈川県内の公立中学校等に在籍している人と同じように扱われます。

なお、第3学年の観点別学習状況の評価および5段階による評定は、第2学期までの評価・評定とし、二学期制の学校にあっては、第3学年の評価・評定は、三学期制の学校に準じて、同時期までの学習状況に基づく評価・評定とします。

Q 海外帰国生徒特別募集の学力検査の問題は、一般募集（共通選抜）の問題と同じですか。

A 海外帰国生徒特別募集の学力検査は、外国語（英語）、国語、数学の3教科です。問題は一般募集（共通選抜）と同じです。ルビは付いていません。また、作文（日本語による）および面接があります。

なお、神奈川総合高等学校の後期募集の問題は、一般募集（共通選抜）と異なります。

Q 過去の問題はどこで見ることができますか。

A 過去3年分の学力検査問題を、神奈川県教育委員会のホームページで公開しています。（一部、著作権上の都合により省略しています。）



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/gakuryokukensa/mondai.html>

省略されていないもの、神奈川総合高等学校の後期募集の学力検査問題および海外帰国生徒特別募集における作文については、県政情報センター行政資料コーナー（横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎2階 9時から17時まで 土曜日、日曜日、休日、年末年始および資料総点検期間中（10月のおおむね2週間）を除く。）において閲覧することができます。また、有料でコピーを取ることもできます。

4 編入学について

神奈川県では、教育局に転編入学情報センターを設けています。海外から帰国する生徒の高校への編入学の際は、**必ず**ご連絡ください。(36 ページ問合せ先等参照)

なお、外国において学校(正規の教育機関として認められている学校)教育における9年の課程を修了した者については、高等学校入学資格を有します。在籍校が当該外国において正規の教育機関として認められているかどうか不明な場合、在日大使館を通じて確認してください。

Q 海外の日本人学校中学部卒業後、現地校 10 年生に在籍していましたが、この度帰国することになりました。海外帰国生徒特別募集を行う高等学校の特別募集枠への編入学は可能でしょうか。

A 海外帰国生徒特別募集を行う高等学校の特別募集枠に編入学をしようとする場合は、2 年以上の外国在住期間や帰国時期などの海外帰国生徒特別募集に志願するための条件を満たしていなければなりません。

帰国が決定した場合には、速やかに転編入学情報センターにご相談ください。(編入学については7 ページに掲載しています。)

Q 令和9(2027)年6月にインターナショナルスクール高等部1年(10 年生の課程)を修了する予定です。修了後すぐに帰国する場合、高等学校2年生へ編入することができますか。

A 令和9(2027)年4月1日に16歳に達していれば、日本の2年生に編入学できる可能性があります。ただし、編入する学年は編入学先の高等学校長が決定します。

5 その他

Q 県内の高等学校の様子をよく知らないで、どの高等学校を志願したらよいのか決めかねています。何か良い方法がありますか。

A 36 ページ記載の問合せ先等にある、「はいすくーる・わんだーらんど(神奈川県の高校紹介ページ)」から、各高等学校のホームページへアクセスすることができます。また、同ページ内にある「輝けきみの明日」では、学校選びのポイントや各公立高等学校の紹介ページを掲載しています。

なお、学校説明会や見学等を希望する場合は、各高等学校へ直接お問い合わせください。

資料

○神奈川県公立高等学校一覧

(令和 8 (2026) 年 4 月現在)

(県－県立、浜－横浜市長、川－川崎市立、須－横須賀市長、全－全日制、定－定時制、通－通信制)

(1) 海外帰国生徒特別募集実施校(全日制の課程)

高等学校名	所在地	電話番号	学科
(県) 神奈川総合	横浜市神奈川区平川町19-2	(045) 491-2000	単位制普通科 国際文化コース
(〃) 横浜国際	横浜市南区六ツ川1-731	(045) 721-1434	単位制国際科
(〃) 新城	川崎市中原区下新城1-14-1	(044) 766-7457	普通科
(〃) 相模原弥栄	相模原市中央区弥栄3-1-8	(042) 758-4695	単位制普通科
(〃) 西湘	小田原市酒匂1-3-1	(0465) 47-2171	普通科
(〃) 鶴嶺	茅ヶ崎市円蔵1-16-1	(0467) 52-6601	普通科
(〃) 伊志田	伊勢原市石田1356-1	(0463) 93-5613	普通科
(浜) 東	横浜市鶴見区馬場3-5-1	(045) 571-0851	単位制普通科

(2) 普通科(単位制を除く。)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 鶴見	横浜市鶴見区下末吉6-2-1	(045) 581-4692	全
(〃) 横浜翠嵐 ※1	横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1	(045) 311-4621	全・定
(〃) 城郷	横浜市神奈川区三枚町364-1	(045) 382-5256	全
(〃) 港北	横浜市港北区大倉山7-35-1	(045) 541-6251	全
(〃) 新羽	横浜市港北区新羽町1348	(045) 543-8631	全
(〃) 岸根	横浜市港北区岸根町370	(045) 401-7872	全
(〃) 霧が丘	横浜市緑区霧が丘6-16-1	(045) 921-6911	全
(〃) 白山	横浜市緑区白山4-71-1	(045) 933-2231	全
(〃) 市ヶ尾	横浜市青葉区市ヶ尾町1854	(045) 971-2041	全
(〃) 元石川	横浜市青葉区元石川町4116	(045) 902-2692	全
(〃) 川和	横浜市都筑区川和町2226-1	(045) 941-2436	全
(〃) 荏田	横浜市都筑区荏田南3-9-1	(045) 941-3111	全
(〃) 新栄	横浜市都筑区新栄町1-1	(045) 593-0307	全
(〃) 希望ヶ丘	横浜市旭区南希望ヶ丘79-1	(045) 391-0061	全・定
(〃) 二俣川	横浜市旭区中尾1-5-1	(045) 391-6165	全
(〃) 旭 ※2	横浜市旭区下川井町2247	(045) 953-3301	全
(〃) 松陽	横浜市泉区和泉町7713	(045) 803-3036	全
(〃) 横浜瀬谷	横浜市瀬谷区東野台29-1	(045) 301-6747	全
(〃) 横浜平沼	横浜市西区岡野1-5-8	(045) 313-9200	全
(〃) 光陵	横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1	(045) 712-5577	全
(〃) 保土ヶ谷	横浜市保土ヶ谷区川島町1557	(045) 371-7781	全
(浜) 桜丘	横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘2-15-1	(045) 331-5021	全
(県) 舞岡	横浜市戸塚区南舞岡3-36-1	(045) 823-8761	全
(〃) 上矢部	横浜市戸塚区上矢部町3230	(045) 861-3500	全
(〃) 金井	横浜市栄区金井町100	(045) 852-4721	全
(浜) 戸塚	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	(045) 871-0301	定
(県) 横浜南陵	横浜市港南区日野中央2-26-1	(045) 842-3764	全
(〃) 永谷 ※3	横浜市港南区下永谷1-28-1	(045) 824-2126	全
(〃) 柏陽	横浜市栄区柏陽1-1	(045) 892-2105	全
(〃) 横浜緑ヶ丘	横浜市中区本牧緑ヶ丘37	(045) 621-8641	全
(〃) 横浜立野	横浜市中区本牧間門40-1	(045) 621-0261	全
(〃) 横浜氷取沢	横浜市磯子区氷取沢町938-2	(045) 772-0606	全
(浜) 南 ※4	横浜市港南区東永谷2-1-1	(045) 822-1910	全

※1 (県) 横浜翠嵐高等学校の定時制の課程は、令和 8 (2026) 年度入学者選抜から募集を停止しました。

※2 (県) 旭高等学校は、令和 9 (2027) 年度に(県) 横浜旭陵高等学校と再編・統合し、新しい高校として募集を開始します。

※3 (県) 永谷高等学校は、令和 7 (2025) 年度入学者選抜から募集を停止しました。令和 9 (2027) 年度に(県) 横浜桜陽高等学校と再編・統合します。

※4 (浜) 南高等学校は、令和 8 (2026) 年度入学者選抜から募集を停止しました。

(2) 普通科(単位制を除く。)—続き—

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(浜) 金沢	横浜市金沢区瀬戸22-1	(045) 781-5761	全
(県) 新城	川崎市中原区下新城1-14-1	(044) 766-7457	全
(〃) 住吉	川崎市中原区木月住吉町34-1	(044) 433-8555	全
(川) 川崎	川崎市川崎区中島3-3-1	(044) 244-4981	全・定(昼間部)
(〃) 橘	川崎市中原区中丸子562	(044) 411-2640	全・定
(〃) 幸	川崎市幸区戸手本町1-150	(044) 522-0125	全
(県) 川崎北	川崎市宮前区有馬3-22-1	(044) 855-2631	全
(〃) 多摩	川崎市多摩区宿河原5-14-1	(044) 911-7107	全
(〃) 生田	川崎市多摩区長沢3-17-1	(044) 977-3800	全
(〃) 百合丘	川崎市多摩区南生田4-2-1	(044) 977-8955	全
(〃) 生田東	川崎市多摩区生田4-32-1	(044) 932-1211	全
(〃) 菅	川崎市多摩区菅馬場4-2-1	(044) 944-4141	全
(〃) 麻生	川崎市麻生区金程3-4-1	(044) 966-7766	全
(川) 高津	川崎市高津区久本3-11-1	(044) 811-2555	全・定
(県) 麻溝台	相模原市南区北里2-11-1	(042) 778-2731	全
(〃) 上鶴間	相模原市南区上鶴間本町9-31-1	(042) 743-5622	全
(〃) 上溝	相模原市中央区上溝6-5-1	(042) 762-0008	全
(〃) 相模原	相模原市中央区横山1-7-20	(042) 752-4133	全
(〃) 上溝南	相模原市中央区上溝269	(042) 778-1981	全
(〃) 橋本	相模原市緑区橋本8-8-1	(042) 774-0611	全
(〃) 相模田名	相模原市中央区田名6786-1	(042) 761-3339	全
(〃) 津久井	相模原市緑区三ヶ木272-1	(042) 784-1053	全・定
(〃) 横須賀	横須賀市公郷町3-109	(046) 851-0120	全・定
(〃) 横須賀大津	横須賀市大津町4-17-1	(046) 836-0281	全
(〃) 追浜	横須賀市夏島町13	(046) 865-4174	全・定
(〃) 津久井浜	横須賀市津久井4-4-1	(046) 848-2121	全
(〃) 逗子葉山	逗子市桜山5-24-1	(046) 873-7322	全
(〃) 鎌倉	鎌倉市七里ガ浜2-21-1	(0467) 32-4851	全
(〃) 七里ガ浜	鎌倉市七里ガ浜東2-3-1	(0467) 32-5457	全
(〃) 大船	鎌倉市高野8-1	(0467) 47-1811	全
(〃) 深沢 ※5	鎌倉市手広6-4-1	(0467) 31-6600	全
(〃) 湘南	藤沢市鶴沼神明5-6-10	(0466) 26-4151	全
(〃) 藤沢西	藤沢市大庭3608-2	(0466) 87-2150	全
(〃) 湘南台	藤沢市円行1986	(0466) 45-6600	全
(〃) 茅ヶ崎 ※6	茅ヶ崎市本村3-4-1	(0467) 52-2225	全・定
(〃) 茅ヶ崎北陵	茅ヶ崎市下寺尾128	(0467) 51-0311	全
(〃) 鶴嶺	茅ヶ崎市円蔵1-16-1	(0467) 52-6601	全
(〃) 茅ヶ崎西浜	茅ヶ崎市南湖7-12869-11	(0467) 85-0008	全
(〃) 寒川	高座郡寒川町一之宮9-30-1	(0467) 74-2312	全
(〃) 平塚江南	平塚市諏訪町5-1	(0463) 31-2066	全
(〃) 高浜	平塚市高浜台8-1	(0463) 21-0417	全
(〃) 大磯	中郡大磯町東町2-9-1	(0463) 61-0058	全
(〃) 二宮	中郡二宮町一色1363	(0463) 71-3215	全
(〃) 秦野	秦野市下大槻113	(0463) 77-1422	全
(〃) 秦野曾屋	秦野市曾屋3613-1	(0463) 82-4000	全
(〃) 伊勢原 ※7	伊勢原市田中1008-3	(0463) 95-2578	全・定
(〃) 伊志田	伊勢原市石田1356-1	(0463) 93-5613	全
(〃) 小田原東	小田原市東町4-12-1	(0465) 34-2847	全
(〃) 西湘	小田原市酒匂1-3-1	(0465) 47-2171	全
(〃) 足柄	南足柄市怒田860	(0465) 73-0010	全
(〃) 山北	足柄上郡山北町向原2370	(0465) 75-0828	全
(〃) 厚木	厚木市戸室2-24-1	(046) 221-4078	全
(〃) 厚木王子	厚木市王子1-1-1	(046) 221-3158	全
(〃) 厚木北	厚木市下荻野886	(046) 241-8001	全
(〃) 厚木西	厚木市森の里青山12-1	(046) 248-1705	全
(〃) 海老名	海老名市中新田1-26-1	(046) 232-2231	全
(〃) 有馬	海老名市社家5-27-1	(046) 238-1333	全
(〃) 愛川	愛甲郡愛川町三増822-1	(046) 286-2871	全
(〃) 大和	大和市つきみ野3-4	(046) 274-0026	全
(〃) 大和南	大和市上和田2557	(046) 269-5050	全
(〃) 大和西	大和市南林間9-5-1	(046) 276-1155	全

※5 (県) 深沢高等学校は、令和7(2025)年度入学者選抜から募集を停止しました。令和9(2027)年度に(県) 藤沢清流高等学校と再編・統合します。

※6 (県) 茅ヶ崎高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※7 (県) 伊勢原高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

(2) 普通科(単位制を除く。)—続き—

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 座間	座間市入谷西5-11-1	(046)253-2011	全
(〃) 綾瀬	綾瀬市寺尾南1-4-1	(0467)76-1400	全
(〃) 綾瀬西	綾瀬市早川1485-1	(0467)77-5121	全

(3) 普通科クリエイティブスクール

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 釜利谷	横浜市金沢区釜利谷東4-58-1	(045)785-1670	全
(〃) 横須賀南	横須賀市佐原4-20-1	(046)834-5671	全
(〃) 大和東	大和市深見1760	(046)264-1515	全
(〃) 小田原北	足柄上郡大井町西大井984-1	(0465)83-4101	全

(4) 総合学科クリエイティブスクール

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 青葉総合	横浜市青葉区桂台2-39-2	(045)962-3135	全

(5) 農業に関する学科(単位制を除く。)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 平塚農商	平塚市達上ヶ丘10-10	(0463)31-0944	全
(〃) 相原	相模原市緑区橋本台4-2-1	(042)760-6131	全
(〃) 中央農業	海老名市中新田4-12-1	(046)231-5202	全

(6) 工業に関する学科(単位制を除く。)

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 神奈川工業	横浜市神奈川区平川町19-1	(045)491-9461	全
(〃) 商工	横浜市保土ヶ谷区今井町743	(045)353-0591	全
(〃) 磯子工業	横浜市磯子区森5-24-1	(045)761-0251	全
(〃) 川崎工科	川崎市中原区上平間1700-7	(044)511-0114	全
(〃) 向の岡工業	川崎市多摩区堰1-28-1	(044)833-5221	全
(〃) 横須賀工業	横須賀市公郷町4-10	(046)851-2122	全
(〃) 平塚工科	平塚市黒部丘12-7	(0463)31-0417	全
(〃) 藤沢工科	藤沢市今田744	(0466)43-3402	全
(〃) 小田原北	小田原市栢山200	(0465)36-0111	全・定
(川) 川崎総合科学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044)511-7336	全・定

(7) 商業に関する学科

高等学校名	所在地	電話番号	課程
(県) 商工	横浜市保土ヶ谷区今井町743	(045)353-0591	全
(〃) 平塚農商	平塚市達上ヶ丘10-10	(0463)31-0944	全
(〃) 小田原東	小田原市東町4-12-1	(0465)34-2847	全
(〃) 相原	相模原市緑区橋本台4-2-1	(042)760-6131	全
(〃) 厚木王子	厚木市王子1-1-1	(046)221-3158	全
(浜) 横浜商業	横浜市南区南太田2-30-1	(045)713-2323	全
(川) 幸	川崎市幸区戸手本町1-150	(044)522-0125	全
(〃) 川崎総合科学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044)511-7336	定

(8) 水産に関する学科

高等学校名	所在地	電話番号	学科
(県) 海洋科学	横須賀市長坂1-2-1	(046)856-3128	全

(9) 美術・家庭・福祉・理数・体育・国際に関する学科(全日制の課程)(単位制を除く。)

高等学校名	所在地	電話番号	学科
(県) 白山	横浜市緑区白山4-71-1	(045)933-2231	美術
(〃) 上矢部	横浜市戸塚区上矢部町3230	(045)861-3500	美術
(〃) 厚木北	厚木市下荻野886	(046)241-8001	スポーツ科学
(川) 川崎	川崎市川崎区中島3-3-1	(044)244-4981	生活科学・福祉
(県) 二俣川 ※8	横浜市旭区中尾1-5-1	(045)391-6165	福祉・看護

※8 (県) 二俣川高等学校は、令和7(2025)年度から看護科の募集を停止しました。

(9) 美術・家庭・福祉・理数・体育・国際に関する学科(全日制の課程)(単位制を除く。)—続き—

高等学校名	所在地	電話番号	学科
(県) 横須賀南	横須賀市佐原4-20-1	(046) 834-5671	福祉
(〃) 津久井	相模原市緑区三ヶ木272-1	(042) 784-1053	福祉
(川) 川崎総合科学	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044) 511-7336	科学
(〃) 橘	川崎市中区中丸子562	(044) 411-2640	スポーツ・国際
(浜) 横浜商業	横浜市中区南太田2-30-1	(045) 713-2323	国際学

(10) 単位制

高等学校名	所在地	電話番号	課程等
(県) 神奈川工業 ※9	横浜市神奈川区平川町19-1	(045) 491-9461	定・普通・工業
(〃) 神奈川総合	横浜市神奈川区平川町19-2	(045) 491-2000	全・普通・舞台芸術
(〃) 横浜旭陵 ※10	横浜市旭区上白根町1161-7	(045) 953-1004	全・普通
(〃) 横浜修悠館	横浜市泉区和泉町2563	(045) 800-3711	通・普通
(〃) 横浜桜陽 ※11	横浜市戸塚区汲沢町973	(045) 862-9343	全・普通
(〃) 横浜栄	横浜市栄区上郷町555	(045) 891-5581	全・普通
(〃) 川崎	川崎市川崎区渡田山王町22-6	(044) 344-5821	全・定・普通
(〃) 三浦初声	三浦市初声町入江274-2	(046) 889-1771	全・普通・農業
(〃) 湘南	藤沢市鶴沼神明5-6-10	(0466) 26-8141	定・普通
(〃) 藤沢清流 ※12	藤沢市大鋸1450	(0466) 82-8111	全・普通
(〃) 平塚湘風	平塚市田村3-13-1	(0463) 55-1532	全・普通
(〃) 小田原	小田原市城山3-26-1	(0465) 23-1201	全・定・普通
(〃) 厚木清南	厚木市岡田1-12-1	(046) 228-2015	全・定・通・普通
(〃) 横浜明朋	横浜市港南区港南台9-18-1	(045) 836-1680	定・普通(多部制)
(〃) 相模向陽館	座間市ひばりが丘3-58-1	(046) 298-3455	定・普通(多部制)
(浜) 東	横浜市鶴見区馬場3-5-1	(045) 571-0851	全・普通
(〃) 戸塚	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	(045) 871-0301	全・普通
(県) 鶴見総合	横浜市鶴見区平安町2-28-8	(045) 506-1234	全・総合
(〃) 横浜緑園	横浜市泉区岡津町2667	(045) 812-3371	全・普通
(〃) 横浜清陵	横浜市中区清水ヶ丘41	(045) 242-1926	全・普通
(〃) 金沢総合	横浜市金沢区富岡東6-34-1	(045) 773-6771	全・総合
(〃) 大師	川崎市川崎区四谷下町25-1	(044) 276-1201	全・普通
(〃) 麻生総合 ※13	川崎市麻生区片平1778	(044) 987-1750	全・総合
(〃) 藤沢総合	藤沢市長後1909	(0466) 45-5200	全・総合
(〃) 秦野総合 ※14	秦野市南が丘1-4-1	(0463) 82-1400	全・定・総合
(〃) 吉田島	足柄上郡開成町吉田島281	(0465) 82-0151	全・農業・生活科学
(〃) 座間総合	座間市栗原2487	(046) 253-2920	全・総合
(〃) 磯子工業 ※15	横浜市磯子区森5-24-1	(045) 761-1451	定・総合
(〃) 向の岡工業 ※16	川崎市多摩区堰1-28-1	(044) 833-6544	定・総合
(〃) 高浜	平塚市高浜台8-1	(0463) 21-2352	定・普通
(浜) みなと総合	横浜市中区山下町231	(045) 662-3710	全・総合
(〃) 横浜総合	横浜市中区大岡2-29-1	(045) 744-1900	定・総合(三部制)
(須) 横須賀総合	横須賀市久里浜6-1-1	(046) 833-4111	全・定・総合
(県) 相模原城山	相模原市緑区城山1-26-1	(042) 782-6565	全
(〃) 相模原弥栄	相模原市中央区弥栄3-1-8	(042) 758-4695	全・普通 音楽・美術・スポーツ科学
(浜) 横浜サイエンス フロンティア	横浜市鶴見区小野町6	(045) 511-3654	全・理数
(県) 横浜国際	横浜市中区六ツ川1-731	(045) 721-1434	全・国際
(〃) 神奈川総合産業 ※17	相模原市南区文京1-11-1	(042) 742-6111	全・総合産業 定・普通・総合

※9(県)神奈川工業高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から工業科(学年制)の募集を停止し、単位制普通科および単位制工業科の募集を開始しました。

※10(県)横浜旭陵高等学校は、令和7(2025)年度入学者選抜から募集を停止しました。令和9(2027)年度に(県)旭高等学校と再編・統合します。

※11(県)横浜桜陽高等学校は、令和9(2027)年度に(県)永谷高等学校と再編・統合し、新しい高校として募集を開始します。

※12(県)藤沢清流高等学校は、令和9(2027)年度に(県)深沢高等学校と再編・統合し、新しい高校として募集を開始します。

※13(県)麻生総合高等学校は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※14(県)秦野総合高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※15(県)磯子工業高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※16(県)向の岡工業高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から募集を停止しました。

※17(県)神奈川総合産業高等学校の定時制の課程は、令和8(2026)年度入学者選抜から単位制総合学科の募集を停止し、単位制普通科の募集を開始しました。

資料

○神奈川県私立高等学校一覧（公募校のみ）

資料提供：福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課

高等学校名	所在地	電話番号	課程	学科	男女 共学別
白鵬女子高	横浜市鶴見区北寺尾4-10-13	(045)581-6721	全	普	女
聖ヨゼフ学園高	〃 〃 東寺尾北台11-1	(045)581-8808	全	普	共
橘学苑高	〃 〃 獅子ヶ谷1-10-35	(045)581-0063	全	普	共
鶴見大学附属高	〃 〃 鶴見2-2-1	(045)581-6325	全	普	共
法政大学国際高	〃 〃 岸谷1-13-1	(045)571-4482	全	普	共
横浜創英高	〃 神奈川区西大町28	(045)421-3121	全	普	共
捜真女学校高等学部	〃 〃 中丸8	(045)491-3686	全	普	女
横浜清風高	〃 保土ヶ谷区岩井町447	(045)731-4361	全	普	共
横浜学園高	〃 磯子区岡村2-4-1	(045)751-6941	全	普	共
関東学院六浦高	〃 金沢区六浦東1-50-1	(045)781-2525	全	普	共
横浜高	〃 〃 能見台通46-1	(045)781-3396	全	普	共
横浜創学館高	〃 〃 六浦東1-43-1	(045)781-0631	全	普	共
慶應義塾高	〃 港北区日吉4-1-2	(045)566-1381	全	普	男
英理女子学院高	〃 〃 菊名7-6-43	(045)431-8188	全	普	女
日本大学高	〃 〃 箕輪町2-9-1	(045)560-2600	全	普	共
武相高	〃 〃 仲手原2-34-1	(045)401-9042	全	普	男
清心女子高	〃 〃 篠原台町36-37	(045)421-8864	通	普	女
山手学院高	〃 栄区上郷町460	(045)891-2111	全	普	共
秀英高	〃 泉区和泉町7865	(045)806-2100	通	普	共
横浜商科大学高	〃 旭区白根7-1-1	(045)951-2246	全	普・総合 ビジネス	共
星槎高	〃 〃 若葉台4-35-1	(045)442-8686	全 通	普	共
横浜富士見丘学園高	〃 〃 中沢1-24-1	(045)367-4380	全	普	共
横浜翠陵高	〃 緑区三保町1	(045)921-0301	全	普	共
森村学園高等部	〃 〃 長津田町2695	(045)984-2505	全	普	共
横浜隼人高	〃 瀬谷区阿久和南1-3-1	(045)364-5101	全	普・国際語	共
桐蔭学園高	〃 青葉区鉄町1614	(045)971-1411	全	普	共
中央大学附属横浜高	〃 都筑区牛久保東1-14-1	(045)592-0801	全	普	共
大西学園高	川崎市中原区小杉町2-284	(044)722-9201	全	普 家	共 女
法政大学第二高	〃 〃 木月大町6-1	(044)711-4321	全	普	共
日本女子大学附属高	〃 多摩区西生田1-1-1	(044)952-6711	全	普	女
桐光学園高	〃 麻生区栗木3-12-1	(044)987-0519	全	普	共
麻布大学附属高	相模原市中央区淵野辺1-17-50	(042)757-2403	全	普	共

高等学校名	所在地	電話番号	課程	学科	男女 共学別
相模女子大学高等部	相模原市南区文京2-1-1	(042)742-1442	全	普	女
(光明学園)相模原高	〃 〃 当麻856	(042)778-3333	全	普	共
東海大学付属相模高	〃 〃 相南3-33-1	(042)742-1251	全	普	共
湘南学院高	横須賀市佐原2-2-20	(046)833-3433	全	普	共
三浦学苑高	〃 衣笠栄町3-80	(046)852-0284	全	普・工技	共
神奈川歯科大学系属緑ヶ丘女子高	〃 緑が丘39	(046)822-1651	全	普	女
横須賀学院高	〃 稲岡町82	(046)822-3218	全	普	共
平塚学園高	平塚市高浜台31-19	(0463)22-0137	全	普	共
鎌倉学園高	鎌倉市山ノ内110	(0467)22-0994	全	普	男
北鎌倉女子学園高	〃 〃 913	(0467)22-6900	全	普・音	女
鎌倉国際文理高	〃 岩瀬1420	(0467)44-2113	全	普	共
清泉女学院高	〃 城廻200	(0467)46-3171	全	普	女
鵠沼高	藤沢市鵠沼藤が谷4-9-10	(0466)22-4783	全	普	共
湘南工科大学附属高	〃 辻堂西海岸1-1-25	(0466)34-4114	全	普	共
日本大学藤沢高	〃 亀井野1866	(0466)81-0123	全	普	共
藤嶺学園藤沢高	〃 西富1-7-1	(0466)23-3150	全	普	男
藤沢翔陵高	〃 善行7-1-3	(0466)81-3456	全	普・商	男
聖園女学院高	〃 みその台1-4	(0466)81-3333	全	普	女
慶應義塾湘南藤沢高等部	〃 遠藤5466	(0466)49-3585	全	普	共
旭丘高	小田原市城内1-13	(0465)24-2227	全	普・総	共
相洋高	〃 城山4-13-33	(0465)22-0211	全	普	共
アレセイア湘南高	茅ヶ崎市富士見町5-2	(0467)87-0132	全	普	共
聖和学院高	逗子市久木2-2-1	(046)871-2670	全	普・英	女
厚木中央高	厚木市恩名1-17-18	(046)221-5678	通	普・工	共
聖セシリア女子高	大和市南林間3-10-1	(046)275-3727	全	普	女
柏木学園高	〃 深見西4-4-22	(046)260-9011	全	普	共
向上高	伊勢原市見附島411	(0463)96-0411	全	普	共
立花学園高	足柄上郡松田町松田惣領307-2	(0465)83-1081	全	普	共
函嶺白百合学園高	足柄下郡箱根町強羅1320	(0460)87-6611	全	普	女

この一覧は令和8(2026)年4月現在のものです。変更になることがありますので、各高等学校にお問い合わせください。

※ 星槎高等学校については、入学資格として、教育上特別な配慮が必要であること、不登校あるいは不登校傾向にあると認められることが必要です。

問合せ先等

◆ 入学者選抜について

高校教育課入学者選抜・定員グループ

電 話 (045) 210-8084

「神奈川県公立高等学校入学者選抜について」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kanagawa.html>

→ 「令和 9 年度入学者選抜の情報」



◆ 公立高等学校の紹介について

高校教育課高校教育企画グループ

電 話 (045) 210-8254

「はいすくーる・わんだーらんど（神奈川県の高校紹介ページ）」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/tokushoku/hsw/index.html>



「輝けきみの明日一に行きたい・知りたい公立高校—令和 9 年度入学生にむけて」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/tokushoku/hsw/2025kagayake.html>



◆ 転入学・編入学について

転編入学情報センター

電 話 (045) 210-8235

問合せの曜日・時間 月曜日～金曜日（土、日、休日および 12 月 29 日～1 月 3 日を除く。）

午前 8 時 30 分～午後 5 時

「転編入学情報センター」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/tenpen/tenpenjouhou.html>

（ページ内に相談フォームがあります。）

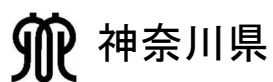


海外から帰国するみなさんへ

神奈川県公立高等学校（全日制）入学のてびき
令和 9（2027）年度入学者用

発 行 令和 8（2026）年 7 月

発行者 神奈川県教育委員会教育局指導部
高校教育課 入学者選抜・定員グループ



教育委員会教育局指導部高校教育課 入学者選抜・定員グループ
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1 神奈川県庁東庁舎 6 階
電話 (045)210-8084（直通）